

京都大学生態学研究センター  
業績目録

---

Publication List  
Center for Ecological Research, Kyoto University

第11巻 (2001年)  
2002 (平成14) 年 3月

Volume 11 (2001)  
March , 2002

京都大学

# 生態学研究センター・ニュース No. 76

|                           |                                                                                    |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 京都大学生態学研究センター             | Center for Ecological Research,                                                    |
| 〒520-2113 滋賀県大津市          | Kyoto University                                                                   |
| 上田上平野町字大塚509-3            | Kamitanakami Hiranocho,                                                            |
| Tel : (077) 549-8200 (代表) | Otsu, Shiga, 520-2113, Japan                                                       |
| Fax : (077) 549-8201      |                                                                                    |
| センター長 山村則男                | Home page: <a href="http://ecology.kyoto-u.ac.jp">http://ecology.kyoto-u.ac.jp</a> |

---

## はじめに

---

---

2001年度は当センターの新たな出発の年でした。当センターの時限であった最初の10年が終わり、第2期目に入りました。また、総合地球環境学研究所の設立に伴い3名の教官がセンターを離れ、その一方で新たに2人の教官が赴任してきました。この新たな体制のもとで、これからの第2期目を進んでゆくことになります。しかし、その前途も平坦な道ではありません。数年後の国立大学の独立法人化に伴うセンターの先行きも、まだまだ不透明です。しかしながらそのような中でも、生態学研究センターは日本の生態学の中心の一つとしてその役割を果たしてゆかなければなりません。

ここに、センターの構成メンバーである教官・研究員・学生、そして日頃ご協力をいただいている協力研究員の皆様の2001年の研究業績をまとめ上げることができました。これらの研究成果をさらに発展させることができるように、当センターはこれからも努力してゆきたいと考えています。今後とも、当センターへの叱咤激励、そしてご協力をよろしくお願いいたします。

2002年 3月

京都大学生態学研究センター長 山村 則男

## 目次

---

---

---

|                                                 |    |
|-------------------------------------------------|----|
| 活動報告 .....                                      | 1  |
| 共同研究 .....                                      | 6  |
| 著作リストの収録内容と凡例 .....                             | 10 |
| A. Staffs スタッフ .....                            | 11 |
| B. Research Students and Fellows 大学院生・研修員 ..... | 31 |
| C. Guest Scientists 協力研究員 .....                 | 34 |
| FUJISHIMA, Masahiro 藤島政博                        |    |
| HANBA, Yuko 半場祐子                                |    |
| INUBUSHI, Kazuyuki 犬伏和之                         |    |
| ITINO, Takao 市野隆雄                               |    |
| ITIOKA, Takao 市岡孝朗                              |    |
| KAKEHASHI, Masayuki 梯 正之                        |    |
| KAMEDA, Kayoko 亀田佳代子                            |    |
| KANEKO, Nobuhiro 金子信博                           |    |
| KAWANABE, Hiroya 川那部浩哉                          |    |
| KONNO, Yasuo 紺野康夫                               |    |
| MORINO, Hiroshi 森野 浩                            |    |
| NAGAMITSU, Teruyoshi 永光輝義                       |    |
| NAKAMURA, Koji 中村浩二                             |    |
| NISHIMURA, Noboru 西村 登                          |    |
| NOZAKI, Kentaro 野崎健太郎                           |    |
| OCHI, Haruki 越智晴基                               |    |
| OHTAKA, Akifumi 大高明史                            |    |
| OKUDA, Noboru 奥田 昇                              |    |
| SAKAMOTO, Kazunori 坂本一憲                         |    |
| SAKIO, Hitoshi 崎尾 均                             |    |
| SHIGESADA, Nanako 重定南奈子                         |    |
| SUZUKI, Kunio 鈴木邦雄                              |    |
| TADAKI, Yoshiya 只木良也                            |    |
| TANAKA, Susumu 田中 晋                             |    |
| UEDA, Keisuke 上田恵介                              |    |
| WAKATSUKI, Toshiyuki 若月利之                       |    |
| WATANABE, Mamoru 渡辺 守                           |    |
| YAMADA, Yoshihiro 山田佳裕                          |    |
| 生態研セミナー .....                                   | 48 |
| 調査船「はす」運航表 .....                                | 52 |
| あとがき .....                                      | 54 |

生態学研究センターでは、2001年度に次のような共同利用事業およびセンター運営の活動を行いました（括弧内は当該報告が掲載されているセンターニュース）。

### 1．共同研究

2001年度にセンターが行った共同研究は31件であった。センターのプロジェクト研究としては、前年に引き続いて以下の3件が取り組まれた。\*日本学術振興会学術創成研究費「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」（代表者：川那部浩哉）、IGBP（地球圏 - 生命圏国際共同研究計画）の一環として文部科学省国際共同研究等経費（代表者：和田英太郎）、日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「地球環境情報収集の方法の確立 - 総合調査マニュアルの作成に向けて -」（代表者：和田英太郎）。そのほか、日本学術振興会学術創成研究費1件、日本学術振興会科学研究費基盤研究(A)7件、日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)5件、日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)1件、文部科学省科学研究費特定領域3件、文部科学省科学研究費特別研究促進費1件、文部科学省科学研究費国際学術研究1件などの共同研究が行われた（本号6ページ）。

（\*平成9年度～12年度は、文部省新プログラム方式（通称：新プロ）による科学研究費補助金創成的基礎研究として推進されたプロジェクトです。）

### 2．協力研究員

センターとしての研究活動をより推進するために、学内外の研究者に協力研究員を委嘱している（任期2年間）。現在83名が任命されている（センターニュースNo. 66にリスト、No. 67、No. 70、No. 75に追加リスト）。

### 3．公募研究会など公募事業

センターでは2001年度に5件の公募研究会、1件の公募実習、1件の公開実習、1件の国際セミナーを行った。

公募研究会：

1)「生態系ネットワークの構造：間接効果を組み込む」

代表者：大串隆之（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年10月12日 - 13日（京大・生態研センター） 参加者：51名（センターニュースNo. 74）

2) 「種子散布研究の未来をさぐる」

代表者：上田恵介（立教大学理学部） 実施期日（場所）：2001年10月15日 - 17日  
（大阪市立自然史博物館） 参加延べ人数：51名（センターニュースNo. 74）

3) 「外来生物の侵入とその生態系へのインパクト」

代表者：近藤倫生（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年11月19日 -  
20日（京大・生態研センター） 参加者：44名（センターニュースNo. 75）

4) 「水域のケミカルコミュニケーション」

代表者：乾 陽子（大阪教育大・教養学科） 実施期日（場所）：2001年11月29日  
（京大・生態研センター） 参加者：35名（センターニュースNo. 75）

5) 「湖底生態系の長期変動」

代表者：永田 俊（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年12月 3日 -  
4日（京大・生態研センター） 参加者：30名（センターニュースNo. 75）

公募実習：

1) 「河川生態系の環境構造と生物群集に関する基礎実習」

代表者：遊磨正秀（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年 7月27日 -  
8月 4日（京大理学部・木曾生物学研究所） 講師：6名、受講者：6名（センターニュー  
ースNo. 74）

公開実習：

1) 「生物起源および生物関連物質の安定同位体比の測定」

代表者：杉本敦子（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年 9月 7日 -  
9日（京大・生態研センター） 受講者：8名（センターニュースNo. 74）

国際セミナー：

1) 「第6回西太平洋アジア国際野外生物学コース」

世話人：湯本貴和（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年 8月29日 -  
9月30日（パソ森林調査ステーション・マレーシア） 受講者：25名（センターニュー  
ースNo. 74）

その他：

1) 「第三回屋久島フィールドワーク講座」

世話人：湯本貴和（京大・生態研センター） 野間直彦（滋賀県立大・環境科学）  
実施期日（場所）：2001年 8月19日 - 25日（屋久島） 主催：上屋久町、共催：屋久町、  
屋久島環境文化財団、京都大学生態学研究センター、京都大学霊長類研究所、講  
師：10名、受講者：19名（センターニュースNo. 74）

#### 4 . 国際シンポジウム

2001年度には、7件の国際シンポジウムを行った。

- 1 ) DIWPA\_C CoML JSPS ジョイントワークショップ  
世話人：白山義久（京大・瀬戸臨海実験所） 実施期日（場所）：2001年 6月17日 - 21日（京大・瀬戸臨海実験所） 参加人数：24名（センターニュースNo. 74）
- 2 ) 第三回日英米ワークショップ「生物多様性と生態複合」  
世話人：Simon Levin（Princeton University） 実施期日（場所）：2001年 6月20日 - 23日（Princeton University, New Jersey） 参加述べ人数：120名（センターニュースNo. 73）
- 3 ) 「地球環境攪乱下における熱帯林多様性の空間情報に関する国際会議」  
世話人：北山兼弘（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年10月10日 - 13日（京大会館） 参加人数：40名（センターニュースNo. 75）
- 4 ) 国際シンポジウム「海洋食物網のダイナミクスと生物地球化学」  
世話人：永田 俊（京大・生態研センター） 小池勲夫（東大・海洋研） 実施期日（場所）：2001年11月 2日 - 3日（ピアザ淡海） 参加延べ人数：100名（センターニュースNo. 75）
- 5 ) コルボーン博士ビデオ講演会  
世話人：清水 勇（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年11月11日（大津プリンスホテル） 参加人数：150名（センターニュースNo. 75）
- 6 ) 生研機構国際シンポジウム「多栄養段階相互作用と緩急に優しい害虫管理」  
世話人：高林純示（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2002年 1月14日 - 16日（芝蘭会館） 参加人数：45名（センターニュースNo. 75）
- 7 ) DIWPA Steering Committee  
世話人：北山兼弘（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2002年 3月12日（京大・生態研センター） 参加人数：20名

#### 5 . 公開シンポジウム

2001年度には、3件の公開シンポジウムを行った。

- 1 ) 「生物多様性研究における標本とデータ管理に関するワークショップ」  
世話人：北山兼弘（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年 8月30日 - 9月 1日（国立科学博物館） 参加人数：100名（センターニュースNo. 75）
- 2 ) 未来開拓「総合調査マニュアルに関するワークショップ」  
世話人：和田英太郎（京大・生態研センター、総合地球環境学研究所） 実施期日（場所）：2001年11月17日（琵琶湖博物館） 参加人数：15名（センターニュースNo. 75）

### 3) 新プロ成果検討会

世話人：永田 俊（京大・生態研センター） 実施期日（場所）：2001年11月21日 - 22日（大津市） 参加人数：30名（センターニュースNo. 75）

## 6. 生態研セミナー

このセミナーは生態学研究センターの共通セミナーとして定期的に行われていた。2001年度には16回（オーガナイザー：北山兼弘）開催した。毎月1回（原則として第3金曜日）毎回2名に1時間ずつ（発表50分、議論10分）話題を提供していただいた。会場は生態学研究センターで行った。センター内から10名、海外からは6名の講演者があった。又、1回の特別フォーラムを開催した。参加人数は各回30名から70名、延べ1000名であった（本号48ページ）。

## 7. ニュースレターの発行

センターの活動を全国の生態学に興味を持たれている方々に知っていただくため、ニュースレターを発行した。2001年度は第71号（業績目録、3月）、第72号（3月20日）、第73号（7月20日）、第74号（11月20日）、第75号（3月20日）を発行した。現在、個人800件、機関340件、計1140件に送付されている。ニュースレターでは、生態学研究センターの活動のみならず、広く生態学一般の情報を提供している。

## 8. 共同利用施設の充実

1) 大型分析機器：安定同位体比精密測定用分析システムは、水との酸素・水素同位体比分析システムとGCCMS（ガスクロ燃焼装置付きオンライン質量分析）を装備した質量分析計と、有機物中の炭素および窒素同位体比オンライン自動分析装置（コンフロ）を装備した質量分析計が稼働している。両者ともほぼ毎日利用され、2001年度の利用日数はそれぞれ243日、246日であった。利用延べ人数はそれぞれ、259人、310人で、このうち38人、117人が学内学外からの共同利用であった。

DNA解析システムはDNAシーケンサー、微量タンパク質分析装置、プロテインシーケンサー、アミノ酸アナライザーなどから構成されている。遺伝子DNAの塩基のシーケンスを解析することにより、分子系統研究や、酵素などの機能性タンパク質の推定アミノ酸配列の比較による分子進化研究が展開できる。2001年度における、このDNA解析システムの延べ利用人数は約150人、延べ利用時間は約2000時間であった。センターの研究者以外に5件の共同利用があった。

2) シンバイオトロン：シンバイオトロンは、物理・化学・生物的複合環境を人為的に制御できる環境制御装置で2000年度から稼働している。陸域実験生態系のテラトロ

ン、水域実験生態系のアクアトロン、および昆虫行動解析システムのズートロンから構成されており、テラトロンとアクアトロンは、コンテナの中に設置された環境制御装置で、センターの敷地内に置かれている。ズートロンはセンター研究棟の中に設置されている。今年度は、生物多様性の創出過程・維持機構・崩壊過程および生物多様性と生態系機能との関係を明らかにするための基礎実験にセンターの教官によって利用された。

- 3) 生態情報アクセスシステム：当センターでは、センターの様々な情報をホームページを通じて公開している。その一環として、琵琶湖の定点観測情報を公開することを計画しており、現在その準備を進めている。琵琶湖における定期観測は、当センターの前身である京都大学臨湖実験所時代を含め、1968年より継続されてきた。このたび、2000年を一区切りに、物理化学的な環境情報（水温・溶存酸素・pH）のデータベース化を行い、それをインターネット上で公開する予定である。
- 4) 船の利用：1998年3月にセンターの新造高速観測調査船「はす」が竣工した。全長12.5m、耐食アルミニウム合金製で最大航行速度20ノット、主な観測航海機器として、DGPS・レーダー・魚群探知機・真風向風速計・流向流速計・ジャイロコンパス・デジタル水温計・航法インターフェイス・採水ウインチ・アーマードケーブルウインチを装備している。「はす」は、センターの調査・観測だけではなく、琵琶湖で調査や実習をされる方々にも共同利用されている。2001年度の共同利用は、観測調査17件（延べ50名）であった。このほかセンターが実施している毎月の定期観測（12件12日）の同乗者やセンター教官との共同研究による利用もあった（延べ運行日数81日、延べ乗船者数345名）。

## 9. 協議員会・運営委員会の開催

### 2001年

- 5月28日 運営委員会（第29回）（議題：教官人事、センター内規、その他）（センターニュースNo. 73）
- 5月28日 協議員会（第39回）（議題：教官人事、センター内規、外国人研究員の招へい）（センターニュースNo. 73）

### 2002年

- 1月7日 運営委員会（第30回）（議題：外国人研究員、名誉教授称号授与）（書面による）（センターニュースNo. 75）
- 1月11日 協議員会（第40回）（議題：外国人研究員、名誉教授称号授与）（書面による）（センターニュースNo. 75）

## 共同研究

---

---

---

2001年度の文部科学省科学研究費などによるセンタースタッフが関係した共同研究をまとめました。研究者は代表者を筆頭とし、センタースタッフは斜体文字で示し、センタースタッフ以外の研究分担者については省略してあります。

川那部浩哉（琵琶湖博物館）・和田・山村・川端・清水・大串・永田・北山・杉本・藤田ほか  
「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」  
1997-2001 日本学術振興会学術創生研究費

塚本勝巳（東大・海洋研）・永田ほか  
「海洋生命系のダイナミクス」  
2000-2004 日本学術振興会学術創生研究費

横山俊夫（京大・人文研）・遊磨ほか  
「前近代久米島文化の復元 - 未公開の家文書群の学際的实施検証をふまえた解釈による - 」  
1999-2001 日本学術振興会科学研究費基盤研究（A1）

川端ほか  
「アクアトロンを用いた水域生態系における遺伝子の伝播と発現機構の解析」  
2001-2003 日本学術振興会科学研究費基盤研究（A1）

永田・和田・川端ほか  
「水圏における複合有機コロイド系の動態を支配する生物複雑性メカニズムに関する研究」  
2001-2003 日本学術振興会科学研究費基盤研究（A1）

和田・清水・高見ほか  
「温暖化と地球環境攪乱が生物多様性、生態系サービスそして人間社会に及ぼす複合効果：マルチスケールアプローチ」  
2000-2002 日本学術振興会科学研究費基盤研究（A1）

菊沢喜八郎（京大・農学）・藤田ほか  
「常緑性・落葉性とその地理分布におよぼす樹木の葉のフェノロジーに関する研究」  
2000-2002 日本学術振興会科学研究費基盤研究（A1）

菊沢喜八郎（京大・農学）・北山・湯本ほか  
「熱帯山地における森林の葉の回転速度に関する研究」  
1999-2001 日本学術振興会科学研究費基盤研究（A2）

北山・清野ほか

「樹木多様性と熱帯降雨林生態系機能の解明」

2001-2004 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (A2)

杉本・藤田ほか

「水循環研究のための水の安定同位体比サンプリング解析システムの開発」

1999-2001 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (B1展開)

湯本ほか

「東南アジアの熱帯林生態系におけるトップダウン効果の検証」

2001-2004 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (B1海外)

占部・清水・成田ほか

「ミジンコ休眠卵を用いた琵琶湖生物群集の近過去復元に関する研究」

2000-2002 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (B2)

永田・川端・山村・占部ほか

「急激な水循環異変が懸念される東アジア巨大湖の生態・環境動態に関する緊急学術調査」

2001-2002 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (B2海外)

斎藤裕 (北大・農学研究科)・山内ほか

「捕食者 - 被食者複合系ダイナミクス下における防衛戦略分断と種多様化に関する研究」

2001-2002 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (B2)

清水ほか

「社会性昆虫ミツバチにおけるリズム生成機構：給餌サイクルと時計遺伝子の発現調節」

2001-2003 日本学術振興会科学研究費基盤研究 (C2)

和田・占部・杉本ほか

「陸域生態系の地球環境変化に対する応答の研究総括班」

1999-2001 文部科学省科学研究費特定領域研究 (B1)

占部・川端ほか

「湖沼生物群集に及ぼす陸上起源物質の影響に関する研究」

1999-2001 文部科学省科学研究費特定領域研究 (B2)

杉本・成田ほか

「湖沼におけるガス交換」

1999-2001 文部科学省科学研究費特定領域研究 (B2)

永田・川端ほか

「水圏環境における複合有機コロイド系の生物複雑性に関する日米共同研究」  
2000-2001 文部科学省科学研究費特別研究促進費

和田・藤田ほか

「モンゴル - セレンゲ河 - バイカル湖水系の陸域生態系における地球環境変化に対する応答」  
2000-2002 文部科学省科学研究費国際学研究（基盤B2）

和田・東・遊磨ほか

「地球環境情報収集の方法の確立 - 総合調査マニュアルの作成に向けて - 」  
1997-2001 日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業

杉本ほか

「水の安定同位体解析による広域水循環過程の研究」  
2000-2002 海洋科学技術センター フロンティア研究推進室

遊磨ほか

「マラウイ湖生態総合研究」  
1998-2001 国際協力事業団研究協力

中静透（地球研）・湯本ほか

「西太平洋アジアの森林生物多様性の広域的把握と生態機能に関するネットワーク研究」  
2000-2001 住友財団研究助成

上田哲行（石川農大）・遊磨ほか

「日本人はトンボをどのように見てきたか - 日本人の自然観の実証的研究」  
1999-2001 日産科学振興財団研究助成

北山・山村・遊磨・湯本ほか

「生物多様性情報学基盤の先導的構築」  
2001-2003 科学技術振興調整費

山村ほか

「生物多様性と生態複合」  
1998-2002 重点研究国際協力事業・日英米共同研究

高林ほか

「植物の情報シグナルによる植物 - 害虫 - 天敵三者間の免疫的相互作用（生態免疫系）に関する基礎的研究」  
1997-2001 生物系特定産業技術研究推進機構補助金

高林・清水ほか

「植物の害虫に対する誘導防衛の制御機構」

2001-2005 科学技術振興事業団 戦略的基礎研究

高林ほか

「樹木の香りが媒介する森と生物とのケミカルコミュニケーション連鎖」

2000-2002 旭硝子財団研究助成金

北山ほか

「地球の温暖化分野 生物圏の脆弱性評価」

1999-2001 環境省地球環境総合推進費

## 著作リストの収録内容と凡例

---

---

---

1. 第11巻著作リストには生態学研究センターの構成員（スタッフ，大学院生および研修員）および協力研究員が，2001（平成13）年（「年度」ではない）に発表した著作を収録します．印刷中のものも，発表年が2002年以降になるものは収録しません．
2. 配列は，(A) スタッフ，(B) 大学院生および研修員，(C) 協力研究員のそれぞれについて，名前のアルファベット順です．協力研究員については，元センター長を除いて，各巻ごとに1)からはじまるナンバーをふります．スタッフと大学院生については，著作の種別（「原著論文」，「著書」，「その他」）ごとに示しています．「著書」は，単著か編著のいずれかに限り，分担執筆は内容によって「原著論文」か「その他」に区分してあります．
3. 協力研究員については，著作リストに載せる・載せないは，各研究員の自由意志とし，「載せてもよい」と判断された方の，そして判断された著作だけを収録しています．ご協力ありがとうございました．
4. 印刷の形式は欧文・和文にかかわらず以下の3通りとしました：
  - (a) 定期刊行学術誌掲載の論文など  
ナンバー) 著者名 {; 著者名, ...} (刊行年) 論文タイトル. 定期刊行物名 巻: 始ページ-終ページ.
  - (b) 単行本（含翻訳）など  
ナンバー) 著者名 {; 著者名, ...} (刊行年) 著書タイトル. 総ページ pp. 出版社, 所在地.
  - (c) 単行本のなかに掲載の論文など  
ナンバー) 著者名 {; 著者名, ...} (刊行年) 論文タイトル. In: 単行本名. (ed. by 編者名 {; ...}) pp. 始ページ-終ページ. 出版社, 所在地.

A. Staffs スタッフ

---

---

---

原著論文

ABE, Takuya 安部琢哉 †

---

Tayasu, I.; Hyodo, F., Takematsu, Y., Sugimoto, A., Inoue, T., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2000) Stable isotope ratios and uric acid preservation of termites belonging to three feeding habitats. *Isotopes Environ. Health Stud.* 36: 259-272.

Inoue, T.; Takematsu, Y., Hyodo, F., Sugimoto, A., Yamada, A., Klangkaew, C., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2001) The abundance and biomass of subterranean termites in a dry evergreen forest of northeast Thailand. *Sociobiology* 37: 41-52.

Fujita, I.; Shimizu, I. and Abe, T. (2001) Distribution of lysozyme and protease, and amino acid concentration in the guts of a wood-feeding termite, *Reticulitermes speratus* (Kolbe): possible digestion of symbiont bacteria transferred by trophallaxis. *Physiological Entomology* 26(2): 116-123.

Hyodo, F.; Tayasu, I., Azuma, J.-I., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2001) Effect of the soil-feeding termite, *Dicuspidermes makhamensis*, on soil carbon structure in a seasonal tropical forest as revealed by CP/MAS C-13 NMR. *Sociobiology* 38: 487-493.

FUJITA, Noboru 藤田 昇

---

Fujita, N.; Amartuvshin, N., Uchida, T. and Wada, E. (2001) Biodiversity and sustainability of Mongolian herbaceous plants subjected to nomadic grazing. In: Sustainable watershed with emphasis on lake ecosystems. (eds. Fujita, N., Timoshkin, O.L., Urabe, J. and Wada, E.) DIWPA Series Volume 3, Russian Academy of Sciences, Novosibirsk.

Matsui, K.; Ushimaru, A. and Fujita, N. (1991) Pollinator limitation in a deceptive orchid, *Pogonia japonica*, on a floating peat mat. *Plant Species Biology* 16: 231-235.

FUKUI, Akiko 福井晶子

---

Fukui, A. (2001) Indirect interactions mediated by leaf shelters in animal-plant communities. *Population Ecology* 43(31): 31-40.

HIGASHI, Masahiko 東 正彦†

---

Yamamura, N.; Yachi, S. and Higashi, M. (2001) An ecosystem organization model explaining diversity at ecosystem level: coevolution of primary producer and decomposer. *Ecological Research* 16: S161-S168.

KAWABATA, Zen'ichiro 川端善一郎

---

Matsui, K.; Honjo, M. and Kawabata, Z. (2001) Estimation of the fate of dissolved DNA in thermally stratified lake water from the stability of exogenous plasmid DNA. *Aquatic Microbial Ecology* 26(1): 95-102.

Nakano, S.; Manage, P.M., Nishibe, Y. and Kawabata, Z. (2001) Trophic linkage among heterotrophic nanoflagellates, ciliates and metazoan zooplankton in a hypereutrophic pond. *Aquatic Microbial Ecology* 25: 259-270.

Matsui, K.; Ishii, N. and Kawabata, Z. (2001) Survival of genetically modified *Escherichia coli* carrying extraneous antibiotic resistance gene through microbial interactions. *Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology* 66(2): 139-145.

Fuma, S.; Takeda, H., Miyamoto, K., Yanagisawa, K., Inoue, Y., Ishii, N., Sugai, K., Ishii, C. and Kawabata, Z. (2001) Ecological evaluation of gadolinium toxicity compared with other heavy metals using an aquatic microcosm. *Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology* 66(2): 231-238.

Tomaru, Y.; Kawabata, Z. and Nakano, S. (2001) Mass mortality of Japanese pearl oyster, *Pinctada fucata martensii*, in relation to water temperature, chlorophyll a and phytoplankton composition. *Diseases of Aquatic organisms* 44(1): 61-68.

Manage, P.M.; Kawabata, Z. and Nakano, S. (2001) Dynamics of cyanophages-like particles and algicidal bacteria causing *Microcystis aeruginosa* mortality. *Limnology* 2: 73-78.

Nishii, K.; Nakano, S., Tamada, M., Manage P.M., Nishibe, Y. and Kawabata, Z. (2001) Microbial decomposition of dissolved organic matter in a hypertrophic pond. *Limnology* 2: 207-212.

Matsui, K.; Jun, M-S., Ueki, M. and Kawabata, Z. (2001) Functional succession of bacterioplankton on the basis of carbon source utilization ability by BIOLOG plates. *Ecological Research* 16: S91-S98.

KIKKAWA, Jiro 橘川次郎 (客員教授)

---

Robertson, B.C.; Degnan, S.M., Kikkawa, J. and Moritz, C.C. (2001) Genetic monogamy in the absence of paternity guards: the Capricorn silvereve, *Zosterops lateralis chlorocephalus*, on Heron Island. *Behavioral Ecology* 12: 666-673.

KITAYAMA, Kanehiro 北山兼弘

---

Kitayama, K. and Iwamoto, K. (2001) Patterns of natural  $^{15}\text{N}$  abundance in the leaf-to-soil continuum of tropical rain forests differing in N availability on Mount Kinabalu, Borneo. *Plant and Soil* 229: 203-212.

KONDOH, Michio 近藤倫生

---

Kondoh, M. & Williams, I.S. (2001) Compensation behaviour by insect herbivores and natural enemies: its influence on community structure. *Oikos* 93: 161-167.

NAGATA, Toshi 永田 俊

---

Koike, I.; Ogawa, H., Nagata, T., Fukuda, R. and Fukuda, H. (2001) Silicate to nitrate ratio of the upper sub-arctic Pacific and the Bering Sea basin in summer: its implication for phytoplankton dynamics. *Journal of Oceanography* 57(3): 253-260.

Nagata, T.; Fukuda, R., Fukuda, H. and Koike I. (2001) Basin-scale geographic patterns of bacterioplankton biomass and production in the subarctic Pacific, July-September 1997. *Journal of Oceanography* 57(3): 301-313.

Aranami, K.; Watanabe, S., Tsunogai, S., Hayashi, M., Furuya, K. and Nagata, T. (2001) Biogeochemical variation in dimethylsulfide, phytoplankton pigments and heterotrophic bacterial production in the subarctic North Pacific during summer. *Journal of Oceanography* 57(3): 315-322.

NAKANO, Shigeru 中野 繁十

---

Nakano, S. and Murakami, M. (2001) Reciprocal subsidies: dynamic interdependence between terrestrial and aquatic food webs. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America* 98: 166-170.

Doi, A.; Iwata, T., Inoue, M., Miyasaka, H., Sabki, M.S. and Nakano, S. (2001) A collection of freshwater fishes from the Rayu basin of western Sarawak, Malaysia. *Raffles Bulletin of Zoology* 49: 13-17.

Kawaguchi, Y. and Nakano, S. (2001) Contribution of terrestrial invertebrates to the annual resource budget for salmonids in forest and grassland reaches of a headwater stream. *Freshwater Biology* 46: 303-316.

Shibata, H.; Mitsuhashi, H., Miyake, Y. and Nakano, S. (2001) Dissolved and particulate carbon dynamics in a cool-temperate forested basin in northern Japan. *Hydrological Processes* 15: 1817-1828.

- Kohmatsu, Y.; Nakano, S. and Yamamura, N. (2001) Effects of head shape variation on growth, metamorphosis and survivorship in larval salamanders (*Hynobius retardatus*). Ecological Research 16: 73-83.
- Motomori, K.; Mitsuhashi, H. and Nakano, S. (2001) Influence of leaf litter quality on the colonization and consumption of stream invertebrate shredders. Ecological Research 16: 173-182.
- Inoue, M. and Nakano, S. (2001) Fish abundance and habitat relationships in forest and grassland streams, northern Hokkaido, Japan. Ecological Research 16: 233-247.
- Usio, N.; Konishi, M. and Nakano, S. (2001) Is invertebrate shredding critical for collector invertebrates? A test of the shredder-collector facilitation hypothesis. Ecological Research 16: 319-326.
- Reinhardt, U.G.; Yamamoto, T. and Nakano, S. (2001) Effects of body size and predators on intra-cohort competition in wild and domesticated juvenile salmon in a stream. Ecological Research 16: 327-334.
- Konishi, M.; Nakano, S. and Iwata, T. (2001) Trophic cascading effects of predatory fish on leaf litter processing in a Japanese stream. Ecological Research 16: 415-422.
- Kuhara, N.; Nakano, S. and Miyasaka, H. (2001) Alterations in the grazing activities of cased caddisfly larvae in response to variations in predation risk and resource level. Ecological Research 16: 705-714.
- Fausch, K.D.; Taniguchi, Y., Nakano, S., Grossman, G.D. and Townsend, C.R. (2001) Flood disturbance regimes influence rainbow trout invasion success among five holarctic regions. Ecological Applications 11: 1438-1455.
- Miyasaka, H. and Nakano, S. (2001) Drift dispersal of mayfly nymphs in the presence of chemical and visual cues from diurnal drift- and nocturnal benthic-foraging fishes. Freshwater Biology 46: 1229-1237.

NARITA, Tetsuya 成田哲也\_\_\_\_\_

- Kiyashko, S.I.; Narita, T. and Wada, E. (2001) Contribution of methanotrophs to freshwater macroinvertebrates: evidence from stable isotope ratio. Aquatic Microbial Ecology 24: 203-207.
- Narita, T. (2001) Cocoon deposition of *Rhyacodrilus hiemalis* Ohtaka (Tubificidae) in Lake Biwa, Japan. Hydrobiologia 463: 141-148.

OHGUSHI, Takayuki 大串隆之\_\_\_\_\_

- Kagata, H. & Ohgushi, T. (2001) Resource partitioning among three willow leaf miners: consequence of host plant phenology. Entomological Science 4: 257-263.
- Kagata, H. & Ohgushi, T. (2001) Preference and performance linkage of a leaf-mining moth (*Paraleucoptera sinuella*) on different Salicaceae species. Population Ecology 43: 141-147.

SEINO, Tatsuyuki 清野達之

---

- Seino, T. (2001) Differences in architecture and shoot growth during stagnant and extension growth phases of *Acanthopanax sciadophylliodes* (Araliaceae). *Annals of Botany* 87: 347-354.
- Takahashi, K.; Seino, T. & Kohyama, T. (2001) Responses to canopy openings in architectural development of saplings in eight deciduous broad-leaved tree species. *Canadian Journal of Forest Research* 31: 1336-1347.

SHIMIZU, Isamu 清水 勇

---

- Shimizu, I.; Yamakawa, Y., Shimazaki, Y., Iwasa, T. (2001) Molecular cloning of *Bombyx* cerebral opsin (Boceropsin) and cellular localization of its expression in the silkworm brain. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 287: 27-34.
- Shimizu, I.; Kawai, Y., Taniguchi, M., Aoki, S. (2001) Circadian rhythm and cDNA cloning of the clock gene *period* in the honeybee *Apis cerana japonica*. *Zool. Science* 18: 779-789.

SUGIMOTO, Atsuko 杉本敦子

---

- Tayasu, I.; Hyodo, F., Takematsu, Y., Sugimoto, A., Inoue, T., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2000) Stable isotope ratios and uric acid preservation of termites belonging to three feeding habitats. *Isotopes Environ. Health Stud.* 36: 259-272.
- Tsujimura, M.; Numaguti, A., Tian, L., Hashimoto, S., Sugimoto, A., and Nakawo, M. (2001) Behavior of subsurface water revealed by stable isotope and tensiometric observation in the Tibetan Plateau. *Journal of the Meteorological Society of Japan* 79: No. 1(B): 599-605.
- Inoue, T.; Takematsu, Y., Hyodo, F., Sugimoto, A., Yamada, A., Klangkaew, C., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2001) The abundance and biomass of subterranean termites in a dry evergreen forest of northeast Thailand. *Sociobiology* 37: 41-52.
- Murase, J. and Sugimoto, A. (2001) Methane in sediments of Lake Biwa: spatial distribution of abundance and stable isotopic composition. *Geochem. J.* 35: 257-263.

TAKABAYASHI, Junji 高林純示

---

- Maeda, T.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (2001) Effects of light on the tritrophic interaction between kidney bean plants, two-spotted spider mites and predatory mites, *Amblyseius womersleyi*. *Experimental and Applied Acarology* 24: 415-425.
- Maeda, T. and Takabayashi, J. (2001) Production of herbivore-induced plant volatiles and their attractiveness to *Phytoseiulus persimilis* (Acari: Phytoseiidae) with changes of *Tetranychus*

- urticae* (Acari: Tetranychidae) density on a plant. Applied Entomology and Zoology 36: 47-52.
- Shimoda, T. and Takabayashi, J. (2001) Migration of specialist insect predators to exploit patchily distributed spider mites. Population Ecology 43: 15-21.
- Shiojiri, K.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (2001) Infochemically mediated tritrophic interaction webs on cabbage plants. Population Ecology 43: 23-29.
- 鈴木泰博; 高林純示, 田中博 (2001) 抽象化学系とその生物系への応用に関する研究. 医療情報学 20(6): 503-512.
- Maeda, T.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (2001) Variation in the olfactory response of 13 populations of the predatory mite, *Amblyseius womersleyi* to *Tetranychus urticae*-infested plant volatiles (Acari: Phytoseiidae, Tetranychidae) Experimental and Applied Acarology 25: 55-62.
- Fukushima, J.; Kainoh, Y., Honda, H. and Takabayashi, J. (2001) Learning of host-infested plant volatiles in *Cotesia kariyai* Watanabe. Entomologia Experimentalis et Applicata 99: 341-346.
- Arimura, G.; Ozawa, R., Horiuchi J., Nishioka, T. and Takabayashi, J. (2001) Plant-plant interactions mediated by volatiles emitted from plants infested by spider mites. Biochemical Systematic and Ecology 29: 1049-1061.
- Yano, S.; Takabayashi, J. and Takafuji, A. (2001) Trade-offs in performance on different plants may not restrict the host plant range of the phytophagous mite, *Tetranychus urticae* Koch. Experimental and Applied Acarology 25: 371-381.
- Takahashi, H.; Takafuji, A., Takabayashi, J., Yano, S. and Shimoda, T. (2001) Seasonal occurrences of specialist and generalist insect predators of spider mites and their response to volatiles from plants infested with spider mites in Japanese pear orchards. Experimental and Applied Acarology 25: 393-402.
- 高橋英夫; 高藤晃雄, 高林純示 (2001) 粘着トラップによるハダニ天敵昆虫類調査法 - ハダニ低密度圃場における有効性評価と合成植物揮発性成分が捕獲数に与える影響 - . 日本応用動物昆虫学会誌 45: 189-194.
- Maeda, T. and Takabayashi, J. (2001) Patch leaving decision of the predatory mite *Amblyseius womersleyi* (Acari: Phytoseiidae) based on multiple information from both inside and outside a prey patch. Journal of Insect Behavior 14: 829-839.
- Suzuki, T.; Fujiwara, Y., Takabayashi, J. and Tanaka, H. (2001) Artificial life applications of a class of P systems: abstract rewriting systems on multisets. Lecture Notes on Computer Science pp. 299-346. Springer Verlag.
- Arimura, G.; Ozawa, R., Horiuchi, J., Nishioka, T. and Takabayashi, J. (2001) Herbivore-induced volatiles induce the emission of ethylene in neighboring lima bean plants. The Plant Journal 29: 87-98.
- Horiuchi, J.; Arimura, G., Ozawa, R., Shimoda, T., Takabayashi, J. and Nishioka, T. (2001) Exogenous ACC enhances volatile production mediated by jasmonic acid in lima bean leaves. EEB letters 509: 332-336.
- Takabayashi, J. and Arimura, G. (2001) Do plants communicate with each other via airborne signals? AgroBiotechNet 3: ABN065.

Shimoda, T. and Takabayashi, J. (2001) Response of *Oligota kashimirika benefica*, a specialist predator of spider mites, to prey-infested lima bean volatiles under both laboratory and field conditions. *Entomologia Experimentalis et Applicata* 101: 41-47.

TAKAMI, Yasuoki 高見泰興

---

Takami, Y. and Katada, S. (2001) Microsatellite DNA markers for the ground beetle *Carabus insulicola*. *Molecular Ecology Notes* 1: 128-130.

URABE, Jotaro 占部城太郎

---

Elser, J.; Hayakawa, K. and Urabe, J. (2001) Nutrient limitation reduces food quality for zooplankton: *Daphnia* response to seston phosphorus enrichment. *Ecology* 82: 898-903.

Gurung, T.B.; Kagami, M., Yoshida, T. and Urabe, J. (2001) Relative importance of biotic and abiotic factors affecting bacterial abundance in Lake Biwa: an empirical analysis. *Limnology* 2: 19-28.

Urabe, J. and Sterner, R.W. (2001) Contrasting effects of different type of resource depletion on life history traits in *Daphnia*. *Functional Ecology* 15: 165-174.

Yoshimizu, C.; Yoshida, T., Nakanishi, M. and Urabe, J. (2001) Effects of zooplankton on the sinking flux of organic carbon in Lake Biwa. *Limnology* 2: 37-43.

Yoshida, T.; Kagami, M., Gurung, T.B. and Urabe, J. (2001) Seasonal succession of zooplankton in Lake Biwa. *Aquatic Ecology* 35: 19-29.

Kagami, M. and Urabe, J. (2001) Phytoplankton growth rate as a function of cell size: an experimental test in Lake Biwa. *Limnology* 2: 111-117.

Elser, J.J.; Gudex, L., Kyle, M., Ishikawa, T. and Urabe, J. (2001) Effects of zooplankton on nutrient availability and seston C:N:P stoichiometry in inshore water of Lake Biwa, Japan. *Limnology* 2: 91-100.

Yoshida, T.; Gurung, T.B., Kagami, M. and Urabe, J. (2001) Contrasting effects of a cladoceran (*Daphnia galeata*) and a clanoid copepods (*Eodiaptomus japonicus*) on algal and microbial plankton in a Japanese lake, Lake Biwa. *Oecologia* 129: 602-610.

WADA, Eitaro 和田英太郎

---

Tateichi, T.; Kohzu, A., Yukutake, H. and Wada, E. (2001) Effects of seed size of Japanese red pine *Pinus densiflora* on colonization of pine seedlings by ectomycorrhizal Basidiomycete *Suillus granulatus* and initial growth of seedlings. *Soil Microorganisms* 55(1): 45-53.

Kiyashko, S.I.; Narita, T. and Wada, E. (2001) Contribution of methanotrophs to freshwater

- macroinvertebrates: evidence from stable isotope ratios. *Aquatic Microbial Ecology* 24: 203-207.
- Zemskaya, T.I.; Namsaraev, B.B., Dul'tseva, N.M., Khanaeva, T.A., Golobokova, L.P., Dubunina, G.A., Dulov, L.E. and Wada, E. (2001) Ecophysiological characteristics of the mat-forming bacterium *Thioploca* in bottom sediments of the Frolikha Bay, Northern Baikal. *Microbiologia* 70(3): 391-397.
- Ogawa, O.N.; Koitabashi, T., Oda, H., Nakamura, T., Ohkouchi, N. and Wada, E. (2001) Fluctuations of nitrogen isotope ratio of gobiid fish (*Isaza*) specimens and sediments in Lake Biwa, Japan, during the 20th century. *Limnol. Oceanogr.* 46(5): 1228-1236.
- Yamada, Y.; Koitabashi, T., Ueda, T. and Wada, E. (2001) Distribution of CH<sub>4</sub> in the north basin of Lake Biwa and tributary rivers. *Limnology* 2: 193-197.

YAMAMURA, Norio 山村則男\_\_\_\_\_

- Yamamura, N.; Yachi, S. and Higashi, M. (2001) An ecosystem organization model explaining diversity at ecosystem level: coevolution of primary producer and decomposer. *Ecological Research* 16: S161-S168.
- Wakano, J.Y. and Yamamura, N. (2001) A simple learning strategy that realizes robust cooperation better than Pavlov in iterated prisoners' dilemma. *J. Ethology* 19: 9-15.
- Kohmatsu, Y.; Nakano, S. and Yamamura, N. (2001) Effects of head shape variation on growth, metamorphosis and survivorship in larval salamanders (*Hynobius retardatus*). *Ecological Research* 16: 73-83.

YUMA, Masahide 遊磨正秀\_\_\_\_\_

- 遊磨正秀 (2001) ゲンジボタル成虫の生息密度におよぼす照度と樹冠被度の影響. *応用生態工学* 4: 59-63.
- Maruyama, A.; Yamada, Y., Yuma, M. & Rusuwa, B. (2001) Stable nitrogen and carbon isotope ratios as migration tracers of a landlocked goby, *Rhinogobius* sp. (the orange form), in the Lake Biwa water system. *Eco. Res.* 16: 697-703.
- Takahashi, K.; Nishida, M., Yuma, M. & Okada, N. (2001) Retroposition of the AFC family of SINEs (short interspersed repetitive elements) before and during the adaptive radiation of cichlid fishes in Lake Malawi and their usage for phylogenetic inference. *J. Molecular Evolution* 53: 496-507.
- Maruyama, A.; Yamada, Y., Rusuwa, B., and Yuma, M. (2001) Change in stable nitrogen isotope ratio in the muscle tissue of a migratory goby, *Rhinogobius* sp., in a natural setting. *Can. J. Fish. Aquat. Sci.* 58: 2125-2128.

YUMOTO, Takakazu 湯本貴和

---

Itioka, T.; Inoue, T., Kaling, H., Kato, M., Nagamitsu, T., Momose, K., Sakai, S., Yumoto, T., Mohamad, S.U., Hamid, A.A. & Yamane, Sk. (2001) Six-year population fluctuation of the giant honey bee *Apis dorsata* (Hymenoptera: Apidae) in a tropical lowland dipterocarp forest in Sarawak. *Annals of the Entomological Society of America* 94: 545-549.

Kimura, K.; Yumoto, T. & Kikuzawa, K. (2001) Fruiting phenology of fleshy-fruited plants and seasonal dynamics of frugivorous birds in four vegetation on Mt. Kinabalu, Borneo. *Journal of Tropical Ecology* 17: 833-858.

## 著書

ABE, Takuya 安部琢哉 †

---

Abe, T. and Higashi, M. (2001) Isoptera. In: *Encyclopedia of Biodiversity* 3 (ed. by Levin, S.A.) pp. 581-611. Academic Press.

HIGASHI, Masahiko 東 正彦 †

---

Abe, T. and Higashi, M. (2001) Isoptera. In: *Encyclopedia of Biodiversity* 3 (ed. by Levin, S.A.) pp. 581-611. Academic Press.

NAGATA, Toshi 永田 俊

---

Haga, T.; Nagata, T. and Sakamoto, M. (2001) Ammonium regeneration within the euphotic zone. In: *Lake Kizaki. Limnology and Ecology of a Japanese Lake* (ed. by Saijo, Y. and Hayashi, H.) pp. 207-215. Backhuys Publishers, Leiden.

NARITA, Tetsuya 成田哲也

---

成田哲也 (2001) タンガニーカ湖 - 固有種の展覧会場. In: *世界の湖. (改訂版)* (ed. by 滋賀県琵琶湖研究所) pp. 153-156. 人文書院.

OHGUSHI, Takayuki 大串隆之

---

大串隆之 (2001) ダイナミックな生物間相互作用 - 昆虫と植物との関係 - . In: 群集生態学の現在. (ed. by 佐藤宏明; 山本智子, 安田弘法) pp. 25-49. 京都大学学術出版会, 京都.

TAKABAYASHI, Junji 高林純示

---

高林純示 (2001) 立ち聞きする植物: 植物間のケミカルコミュニケーション. 遺伝 55: 19-20.  
高林純示; 有村源一郎 (2001) 植物はケミカルコミュニケーションによって身を守る - 害虫被害植物が放出する揮発性シグナルによる植物の防衛遺伝子の活性化 - . 化学と生物 39: 289-291.  
有村源一郎; 小澤理香, 塩尻かおり, 高林純示 (2001) 植物 - 害虫 - 天敵三者間の相互作用について. 日本農薬学会誌 26: 174-182.  
有村源一郎; 高林純示 (2001) 食害刺激に応答した植物の防衛戦略. ブレインテクノニュース 84: 10-14.

URABE, Jotaro 占部城太郎

---

占部城太郎 (2001) 「食う - 食われる」プランクトンの世界. In: 琵琶湖を語る50章. (ed. by 琵琶湖百科編集委員会) サンライズ出版.

YUMA, Masahide 遊磨正秀

---

遊磨正秀 (2001) 河川と水田の水系環境. In: 琵琶湖を語る50章. (ed. by 琵琶湖百科編集委員会) pp. 111-116. サンライズ出版, 彦根.  
湊 秋作; 鬼頭秀一, 遊磨正秀, 大西行雄, 井阪尚司, 西堀明枝, 嘉田由紀子 (2001) 「ウチ」の目と「ソト」の目. In: 蒲生野考現倶楽部「たんけん・はっけん・ほっとけん - 子どもと歩いた琵琶湖・水の里のくらしと文化」 (ed. by 井阪尚司) pp. 190-208. 昭和堂 .

YUMOTO, Takakazu 湯本貴和

---

湯本貴和 (2001) 熱帯雨林. In: 水越武写真集「熱帯雨林」. pp. 154-168. 岩波書店.  
湯本貴和 (2001) 照葉樹林の林冠生態学: 植物の繁殖をめぐる動物との共生. In: 照葉樹林文化論の現代的展開. (ed. by 金子務; 山口裕文) pp. 43-64. 北海道大学図書刊行会.

その他

KAWABATA, Zen'ichiro 川端善一郎

---

中野伸一; 外丸裕司, 川端善一郎, 鈴木 聡 (2001) 宇和海のアコヤガイ漁場における微生物生態: 餌微生物と病原微生物地球環境. 6(1): 39-45.

KIKKAWA, Jiro 橘川次郎 (客員教授)

---

Kikkawa, J. (2001) Reforestation and biodiversity in the Asia-Pacific region. Proceedings of the 9<sup>th</sup> Workshop of BIO-REFOR, Kuala Lumpur, August 2000. pp. 15-21.

Kikkawa, J. (2001) Microcosm food webs. A review of "Food Webs and Container Habitats: the Natural History and Ecology of Phytotelmata" by R.L. Kitching. Trends in Ecology & Evolution 16: 322.

橘川次郎 (2001) 環境の未来像は現代にある? 応用生態工学 4: 107-108.

橘川次郎 (2001) 環境影響評価における生態系の予測・評価について. 第1回特別講演会 (平成13年度) 財団法人ダム水源地環境整備センター (東京): pp. 53.

KITAYAMA, Kanehiro 北山兼弘

---

北山兼弘他 (2001) 地球温暖化による生物圏の脆弱性の評価に関する研究 - 熱帯林生態系の森林域分類と脆弱性の評価. 地球環境研究総合推進費 平成12年度研究成果中間報告集 地球の温暖化: 190-194.

NARITA, Tetsuya 成田哲也

---

石井玲子; 田辺和江, 谷田部順, 伊藤孝, 中野孝教, 梶原良道, 西野麻知子, 辻村茂男, 中島拓男, 成田哲也 (2001) 琵琶湖の硫黄・ストロンチウム同位体地球科学. 堆積学研究 53: 88-90.

成田哲也; 小坂橋忠俊, 関野樹 (2001) 京都大学生態学研究センター所蔵標本リスト. 京都大学生態学研究センターテクニカルレポート 2: 1-69.

OHGUSHI, Takayuki 大串隆之

---

大串隆之 (2001) 植物の防御戦略が創りだす昆虫間の相互関係. 都市緑化技術 40: 14-18.

SHIMIZU, Isamu 清水 勇

---

清水 勇 (2001) 熱帯雨林保全のための生物多様性インベントリーシステムの確立. 平成10 - 12年文部省科研費 (基盤研究A2:10041169 : 代表 清水勇) 補助金研究成果報告書 pp. 81-97.

SUGIMOTO, Atsuko 杉本敦子

---

Sugimoto, A.; Takata, K., Numaguti, A., Ichiyangi, K., Kurita, N., Yamazaki, T., Kotake, T., Kubota, J., Yangisawa, N., Argunov, R., Torgovkin, Y., Fedorov, A., and Ohata, T. (2001) Spatial and seasonal variations in surface soil moisture around Yakutsk observed in 2000. Proceedings of GAME/Siberia Workshop. GAME Publication 30: 63-73.

Okubo, K.; Akitomo, K., Ishikawa, K., Murase, J., Sugimoto, A. and Kumagai, M. (2001) An ecological role of gyres in lakes. Proceedings of Fourth Regional Conference on the ILTER: The East Asia and Pacific Region.

Sugimoto, A.; Naito, D., Numaguti, A., Ichiyangi, K., Kurita, N. and Ishii, Y. (2001) Observation on water isotopes in eastern Siberia for water cycle study. Proceedings of The Fifth International Study Conference on GEWX in Asia and GAME. GAME Publication 31(1): 1-4.

TAKAMI, Yasuoki 高見泰興

---

高見泰興 (2001) 性選択から見たオサムシ交尾器の機能と進化. 昆虫と自然 36: 24-28.

WADA, Eitaro 和田英太郎

---

和田英太郎 (2001) 野外調査研究のはざまから. 科学 71(4)(5).

Boontanon, N.; 高津文人, 和田英太郎 (2001) 安定同位体比からみた琵琶湖におけるN<sub>2</sub>Oの生成構造. 月刊海洋 33(7): 511-517.

YAMAMURA, Norio 山村則男

---

山村則男 (2001) 生物多様性はなぜ必要か? 学術月報 54(11): 57-60.

YUMA, Masahide 遊磨正秀

---

遊磨正秀 (2001) マラウイ湖畔における「森と人と湖」のつながり - 学際的共同研究の試み - . 環境技術 30(12): 46-51.

YUMOTO, Takakazu 湯本貴和

---

湯本貴和 (2001) 屋久島の保全. 遺伝 55(2): 85-89. 裳華房.

湯本貴和 (2001) 屋久島・照葉樹林における植物 - 動物共生. プランタ 76(7): 30-35. 研成社.

湯本貴和 (2001) 林冠生物学こと始め (9) 種子散布の生物学. WWFJapan 31(1/2): 15-16. (財) 世界自然保護基金.

湯本貴和 (2001) 林冠生物学こと始め (10) 熱帯雨林を再生するには. WWFJapan 31(3): 17-18. (財) 世界自然保護基金.

湯本貴和 (2001) 「進歩」と「進化」生命の島 58: 121-122. 屋久島産業文化研究所.

原著論文

- 1) Takahashi, S. and Takabayashi, J. (1984) Host selection behavior of *Anicetus beneficus* Ishii et Yasumatsu (Hymenoptera: Encyrtidae). II. Bioassay of oviposition stimulants in *Ceroplastes rubens* Maskell (Hemiptera: Coccidae). *Applied Entomology and Zoology* 19: 117-119.
- 2) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1985) Host selection behavior of *Anicetus beneficus* Ishii et Yasumatsu (Hymenoptera: Encyrtidae). III. Presence of oviposition stimulants in the scale wax of genus *Ceroplastes*. *Applied Entomology and Zoology* 20: 173-178.
- 3) Takabayashi, J.; Noda, T. and Takahashi, S. (1985) Effect of kairomones in the host searching behavior of *Apanteles kariyai* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae), a parasitoid of the common armyworm *Pseudaletia separata* Walker (Lepidoptera: Noctuidae). I. Presence of arresting stimulants produced by the host larvae. *Applied Entomology and Zoology* 20: 484-489.
- 4) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1986) Effect of kairomones in the host searching behavior of *Apanteles kariyai* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae), a parasitoid of the common armyworm *Pseudaletia separata* Walker (Lepidoptera: Noctuidae). II. Isolation and identification of arrestants produced by the host larvae. *Applied Entomology and Zoology* 21: 114-118.
- 5) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1986) Effect of kairomones in the host searching behavior of *Apanteles kariyai* Watanabe (Hymenoptera: Braconidae), a parasitoid of the common armyworm *Pseudaletia separata* Walker (Lepidoptera: Noctuidae). III. Synthesis and bioassay of arrestants and related compounds. *Applied Entomology and Zoology* 21: 519-524.
- 6) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1988) Effect of kairomone on the parasitization rates of *Apanteles kariyai* to *Pseudaletia separata*. *Journal of Pesticide Science* 13: 283-286.
- 7) Takahashi, S.; Takegawa, H., Takabayashi, J., Abudulla, M., Fatimah, A.S. and Mohamed, H. (1988) Sex pheromone activity of synthetic Periplanone-B in male cockroaches of genera *Periplaneta* and *Blatta*. *Journal of Pesticide Science* 13: 125-127.
- 8) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1989) Effects of host fecal pellet and synthetic kairomone on host-searching and postoviposition behavior of *Apanteles kariyai*, a parasitoid of *Pseudaletia separata*. *Entomologia Experimentalis et Applicata* 52: 221-227.
- 9) Dicke, M.; van der Maas, K.-Y., Takabayashi, J. and Vet, L.E.M. (1990) Learning affects responses to volatile allelochemicals by predatory mites. In (M. J. Sommeijer & J. van de Brom eds) *Proceedings of the section Experimental & Applied Entomology of the Netherlands Entomological Society* 1:31-36.
- 10) Takahashi, S.; Hajika, M., Takabayashi, J. and Fukui, M. (1990) Oviposition stimulants in the Coccid cuticular waxes of *Aphytes yanonensis* De Bach & Rosen. *Journal of Chemical Ecology* 16: 1657-1665.
- 11) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1990) An allelochemical elicits arrestment in *Apanteles kariyai* in frass of nonhost larvae *Acantholeucania loreyi*. *Journal of Chemical Ecology* 16: 2009-2017.

- 12) Dicke, M.; Sabelis, M.W., Takabayashi, J., Bruin, J. and Posthumus, M.A. (1990) Plant strategies of manipulating predator-prey interactions through allelochemicals: prospects for application in pest control. *Journal of Chemical Ecology* 16: 3091-3118.
- 13) Sugimoto, T.; Minkenberg, O.P.J.M., Takabayashi, J., Dicke, M. and Lenteren, J.C. (1990) Foraging for patchily-distributed leaf miners by the parasitic wasp, *Dacnusa sibirica*. *Researches on Population Ecology* 32: 381-389.
- 14) Takabayashi, J.; Dicke, M., Kemmerink, J. and Veldheusen, T. (1990) Environmental effects of production of a plant synomone that attracts predatory mites. In (T. Jermy & A. Szentesi, eds) *Symposia Biologia Hungarica* 39: 541-542.
- 15) Dicke, M.; Sabelis, M.W. and Takabayashi, J. (1990) Do plants cry for help? Evidence related to a tritrophic system of predatory mites, spider mites and their host plants. In (T. Jermy & A. Szentesi, eds) *Symposia Biologia Hungarica* 39: 127-134.
- 16) Takabayashi, J.; Dicke, M. and Posthumus, M.A. (1991) Induction of indirect defense against spider mites in uninfested Lima bean leaves. *Phytochemistry* 30: 1459-1462.
- 17) Takabayashi, J.; Noda, T. and Takahashi, S. (1991) Plants produce attractants for *Apanteles kariyai*, a parasitoid of *Pseudaletia separata*: cases of communication and misunderstanding in parasitoid-plant interactions. *Applied Entomology and Zoology* 26: 237-243.
- 18) Bruin, J.; Sabelis, M.W., Takabayashi, J. and Dicke, M. (1991) Uninfested plants profit from their infested neighbors. In (M. J. Sommeijer & J. van de Brom eds) *Proceedings of the section Experimental & Applied Entomology of the Netherlands Entomological Society* 2: 103-108.
- 19) Takabayashi, J.; Dicke, M. and Posthumus, M.A. (1991) Variation in composition of predator-attracting allelochemicals emitted by herbivore-infested plants: relative influence of plant and herbivore. *Chemoecology* 2: 271-277.
- 20) Dicke, M. and Takabayashi, J. (1991) Induced indirect defense in plant-herbivore-parasitoid systems. *REDIA* 74: 105-113.
- 21) Takabayashi, J.; Takahashi, S. and Dicke, M. (1991) Effects of plant volatiles on the foraging behavior of parasitoids and predators. *3rd JSPS-VCC Seminar on Integrated Engineering* 271-277.
- 22) Takahashi, S.; Takabayashi, J., Fen, M.C. and Tan, K.H. (1991) Biological active compounds of plant origin. *3rd JSPS-VCC Seminar on Integrated Engineering* 245-250.
- 23) Takabayashi, J. and Dicke, M. (1992) Response of predatory mites with different rearing histories to volatiles of uninfested plants. *Entomologia Experimentalis et Applicata* 64: 187-193.
- 24) Kim, G.-H.; Takabayashi, J., Takahashi, S. and Tabata, K. (1992) Function of pheromones in mating behavior of the Japanese pine beetle, *Monochamus alternatus* Hope. *Applied Entomology and Zoology* 27: 489-497.
- 25) Fauziah, B.A.; Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1992) Attraction of *Bactrocera dosalis* and *B. umbrosa* to the flower petals of *Murraya pinaculata*. *4th JSPS-VCC Seminar on Integrated Engineering* 164-174.
- 26) Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1993) Role of the scale wax of *Ceroplastes ceriferu* as defense substance against parasitic wasp *Anicetus ceroplastis*. *Journal of Insect Behavior* 6:107-115.

- 27) Kim, G.-H.; Takabayashi, J., Takahashi, S. and Tabata, K. (1993) Function of contact pheromone in the mating behavior of *Semanotus japonicus*. *Applied Entomology and Zoology* 28: 525-535.
- 28) Takabayashi, J. and Dicke, M. (1993) Volatile allelochemicals that mediate interactions in a tritrophic system consisting of predatory mites, spider mites and plants. In (H. Kawanabe, J. E. Cohen and K. Iwasaki, eds) *Mutualism and community organization. Behavioural, Theoretical and Foodweb Approaches*. pp. 280-295. Oxford University Press, London.
- 29) Takabayashi, J.; Dicke, M., Takahashi, S. and Posthumus, M.A. (1994) Leaf age affects composition of herbivore-induced synomones and attraction of predatory mites. *Journal of Chemical Ecology* 20: 373-386.
- 30) Takabayashi, J.; Dicke, M. and Posthumus, M.A. (1994) Volatile herbivore-induced terpenoids in plant-mite interactions: variation caused by biotic and abiotic factors. *Journal of Chemical Ecology* 20: 1324-1354.
- 31) Takabayashi, J.; Takahashi, S., Dicke, M. and Posthumus, M.A. (1995) Developmental stage of the herbivore *Pseudaletia separata* affects production of herbivore-induced synomone by corn plants. *Journal of Chemical Ecology* 21: 273-287.
- 32) Ohara, Y.; Takabayashi, J. and Takahashi, S. (1996) Oviposition kairomone in the cuticular wax of host larvae, *Pseudaletia separata*, toward its parasitic wasp, *Cotesia kariyai*. *Applied Entomology and Zoology* 31: 271-277.
- 33) Takabayashi, J. and Dicke, M. (1996) Plant-carnivore mutualism through herbivore-induced carnivore attractants. *Trends in Plant Science* 1: 109-113.
- 34) Shimoda, T.; Takabayashi, J., Ashihara, W. and Takafuji, A. (1997) Response of predatory insects *Scolothrips takahashii* toward herbivore-induced plant synomone in both laboratory and field conditions. *Journal of Chemical Ecology* 23: 2033-2048.
- 35) Horikoshi, M.; Takabayashi, J., Yamaoka, R., Yano, S., Ohsaki, N. and Sato, Y. (1997) *Cotesia glomerata* female wasps use fatty acids from plant-herbivore complex in host searching. *Journal of Chemical Ecology* 23: 1505-1515.
- 36) Takabayashi, J. and Dicke, M. (1997) Herbivore-induced plant volatiles with multifunctional effects in ecosystems: a complex pattern of biotic interactions. In (T. Abe & M. Higashi, eds) *Biodiversity: An Ecological Perspective*. pp. 131-145. Springer.
- 37) Takabayashi, J.; Sato, Y., Horikoshi, M., Yamaoka, R., Yano, S., Ohsaki, N. and Dicke, M. (1998) Plant effects on parasitoid foraging: differences among two tritrophic systems. *Biological Control* 11: 97-103.
- 38) Dicke, M.; Takabayashi, J., Shutte, C., Krips, O.E. (1998) Behavioural ecology of plant-carnivore interactions: variation in response of phytoseiid mites to herbivore-induced plant volatiles. *Experimental and Applied Acarology* 22: 595-601.
- 39) Yano, S.; Wakabayashi, M., Takabayashi, J. and Takafuji, A. (1998) Factors determining the host range of the phytophagous mite, *Tetranychus urticae* (Acari: Tetranychidae): a method for quantifying host acceptance. *Experimental and Applied Acarology* 22: 595-601.
- 40) Maeda, T.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (1998) Factors affecting the resident time

- of the predatory mite *Phytoseiulus persimilis* (Acari: Phytoseiidae) in a prey patch. *Applied Entomology and Zoology* 33: 573-576
- 41) Dicke, M.; Takabayashi, J., Shutte, C., Krips, O.E. (1998) Behavioural ecology of plant-carnivore interactions: variation in response of phytoseiid mites to herbivore-induced plant volatiles. In (J. Bruin, van der Geest, M. W. Sabelis, eds) *Ecology and Evolution of the Acari*. 251-268.
  - 42) Sato, Y.; Yano, S., Takabayashi, J. and Ohsaki, N. (1999) *Pieris rapae* females avoid oviposition on *Rorippa indica* plants infested by conspecific larvae. *Applied Entomology and Zoology* 34: 333-337.
  - 43) Maeda, T.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (1999) Response of the predatory mite, *Amblyseius womersleyi* (Acari: Phytoseiidae), toward herbivore-induced plant volatiles: variation in response between two local populations. *Applied Entomology and Zoology* 34: 449-454.
  - 44) Sato, Y.; Takabayashi, J., Yano, S. and Ohsaki, N. (1999) Effect of herbivore species on host searching of a parasitoid *Cotesia glomerata* (Hymenoptera: Braconidae). *Applied Entomology and Zoology* 34: 459-461.
  - 45) Takabayashi, J.; Dicke, M., Posthumus, M.A. and Takahashi, S. (1999) Inter and intraspecific variation in composition of herbivore-induced synomones that attract predatory mites. In (G.R. Needham, R. Mitchell, D.J. Horn, W.C. Erlbourn eds) *Acarology IX Symposia*. Ohio Biological Survey 239-244.
  - 46) Shiojiri, K.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji A. (2000) Flight response of parasitoid toward plant-herbivore complexes: a comparative study of two parasitoid-herbivore systems on cabbage plants. *Applied Entomology and Zoology* 35: 87-92.
  - 47) Takabayashi, J.; Sato, Y., Yano, S. and Ohsaki, N. (2000) Presence of oily droplets from the dorsal setae of *Pieris rapae* larvae. *Applied Entomology and Zoology* 35: 115-118.
  - 48) Fujiwara, C.; Takabayashi, J. and Yano, S. (2000) Effects of host-food plant species on parasitization rates of *Mythmna separata* (Lepidoptera: Noctuidae) by a parasitoid, *Cotesia kariyai* (Hymenoptera: Braconidae). *Applied Entomology and Zoology* 35: 131-136.
  - 49) Ozawa, R.; Arimura, G., Takabayashi, J., Shimoda, T. and Nishioka, T. (2000) Involvement of jasmonate- and salicylate-related signaling pathways for the production of specific herbivore-induced volatiles in plants. *Plant and Cell Physiology* 41: 391-398.
  - 50) Arimura, G.; Ozawa, R., Shimoda, T., Nishioka, T., Boland, W. and Takabayashi, J. (2000) Herbivory-induced volatiles elicit defence genes in lima bean leaves. *Nature* 6795: 512-515.
  - 51) Ikegami, Y.; Yano, S., Takabayashi, J. and Takafuji, A. (2000) Function of quiescence of *Tetranychus kanzawai* (Acari: Tetranychidae), as a defense mechanism against rain. *Applied Entomology and Zoology* 35: 339-343.
  - 52) Maeda, T.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (2000) The effects of rearing conditions on the olfactory response of predatory mites, *Phytoseiulus persimilis* and *Amblyseius womersleyi* (Acari: Phytoseiidae). *Applied Entomology and Zoology* 35: 345-351.
  - 53) Arimura, G.; Nishioka, T., Tashiro, K., Kuhara, S. and Takabayashi, J. (2000) Gene responses in bean leaves induced by herbivory and by herbivore-induced volatiles. *Biochemical Biophysical Research Communication* 277: 305-310.

- 54) Suzuki, Y.; Takabayashi, J. and Tanaka, H. (2000) Investigation of an ecological system by using an abstract rewriting system on multisets. In (Gh. Paun, ed) Recent Topics in Mathematical and Computational Linguistics. pp. 300-309. The Publ. House of the Romanian Academy, Bucharest.
- 55) Shiojiri, K.; Takabayashi, J., Yano, S. and Takafuji, A. (2000) Herbivore-species-specific interactions between crucifer plants and parasitic wasps (Hymenoptera: Braconidae) that are mediated by infochemicals present in areas damaged by herbivores. Applied Entomology and Zoology 35: 519-524.
- 56) Fujiwara, C.; Takabayashi, J. and Yano, S. (2000) Oviposition experience on a host-infested plant affects flight and antennal searching behavior of *Cotesia kariyai* toward the host-plant complex. Entomologia Experimentalis et Applicata 97: 251-256.
- 57) Takabayashi, J.; Shimoda, T., Dicke, M., Ashihara, W. and Takafuji, A. (2000) Induced response of tomato plants against injury by green and red strains of *Tetranychus urticae* Experimental and Applied Acarology 24: 377-383.
- 58) Ozawa, R.; Shimoda, T., Kawaguchi, M., Arimura, G., Nishioka, T. and Takabayashi, J. (2000) *Lotus japonicus* infested with herbivorous mites emits volatile compounds that attract predatory mites. Journal of Plant Research 113: 427-433.

#### 著書

- 59) 高林純示; 羽鹿牧太, 高橋正三 (1986) 寄生バチの寄主選好性とカイロモン. 植物防疫 40: 180-184.
- 60) 高林純示 (1991) 捕食性ダニ - 植食性ダニ - 植物という三者間の化学的相互作用 - 植物が捕食性ダニに植食性ダニを退治してもらう話 - . 日本農芸化学会誌 65: 1250-1253.
- 61) 高林純示 (1991) 種間三角関係に作用する情報化学物質. 個体群生態学会報 48: 10-15.
- 62) 高林純示 (1992) 植物由来物質による植食性昆虫の天敵の誘引. 植物防疫 46: 168-171.
- 63) 高林純示 (1992) ボディーガードを雇う植物 - 化学が浮き彫りにする生物世界の新しい描像 - . 地球共生系とは何か (東正彦、安部啄哉編) 平凡社. 189-199.
- 64) 高林純示 (1993) 昆虫・ダニの植物に対する嗅覚応答. 連載講座 昆虫の化学応答研究法 化学と生物 31: 410-417.
- 65) 高林純示 (1994) ガードマンを雇う植物. 植物, 植食者, 捕食者の三角関係. 化学 49: 315-317.
- 66) 高林純示 (1995) 植物の繁殖戦略と共生. ボディーガードを呼び寄せる植物. 創造の世界 小学館 93: 12-29.
- 67) 河合雅雄; 川那部浩哉, 高林純示, 中根周歩, 東正彦, 和田英太郎 (1995) シンポジウム = 生物多様性の謎を探る. 創造の世界 小学館 93: 50-72.
- 68) 高林純示; 西田律夫, 山岡亮平 (1995) 共進化の謎 - 化学の目から見た生態系. 共生の生態学 - 4 平凡社.
- 69) 高林純示; 田中利治 (1995) 寄生バチをめぐる三角関係. 講談社メチエ
- 70) 高林純示 (1995) 種間関係を多様化する間接作用. ボディーガードを雇う植物. 地球共生系 多様な生物の共存する仕組み (第9回大学と科学シンポジウム組織委員会編) クバプロ 54-67.

- 71) 遠藤彰; 川那部浩哉, 石川統, 井上民二, 川端善一郎, 箕浦幸治, 高林純示 (1995) パネルディスカッション 再び「地球共生系とは？」地球共生系 多様な生物の共存する仕組み (第9回大学と科学シンポジウム組織委員会編) クバプロ 162-174.
- 72) 高林純示 (1995) 植物 - 植物相互作用系研究史 月刊言語 大修館書店 24: 79-83.
- 73) 高林純示(1995) 立ち聞きするマメ. 月刊言語 大修館書店 24: 38-45.
- 74) 高林純示(1995) 種間三角関係の化学生態学. 農薬環境科学研究 (上野民夫編) 3: 11-28.
- 75) 高林純示 (1996) 植物も言葉を操る. 週間朝日百科 植物の世界 112: 126-128.
- 76) 高林純示 (1997) 植物 - 植食者 - 捕食者三者系の化学生態学. - 新技術開発に向けて - 遺伝 51: 38-43.
- 77) 高林純示 (1998) 植食者誘導性の植物匂い物質の化学生態学. 比較生理生化学 15: 307-314.
- 78) 高林純示 (1999) 植物のSOSシグナルを学習するチリカブリダニ. 昆虫と自然 34: 18-22.
- 79) 高林純示 (1999) 植物 - イモムシ - 寄生蜂の三角関係. 昆虫と自然 12: 19-23.

YAMAUCHI, Atsushi 山内 淳

---

#### 原著論文

- 1) Iwasa, Y.; Yamauchi, A. and Nozoe, S. (1992) Optimal seasonal timing of univoltine and bivoltine insects. *Ecological Research* 7: 55-62.
- 2) Yamauchi, A. (1993) Theory of intraspecific nest parasitism in birds. *Animal Behaviour* 46: 335-345.
- 3) Yamauchi, A. (1993) A population dynamic model of the Batesian mimicry. *Researches on Population Ecology* 35: 295-315.
- 4) Yamauchi, A. and Iwasa, Y. (1995) Coupling of fermentation and foraging strategies of herbivore mammals. *Journal of Theoretical Biology* 172: 1-11.
- 5) Yamauchi, A. (1995) Theory of evolution of nest parasitism in birds. *The American Naturalist* 145: 434-456.
- 6) Yamauchi, A. and Matsumiya, Y. (1996) Optimal escapement policy with imprecise recruit estimation. *Fisheries Science* 62: 35-39.
- 7) Yamauchi, A. (1996) Theory of mast reproduction in plants: Storage size dependent strategy. *Evolution* 50: 1795-1807.
- 8) Yamauchi, A. and Matsumiya, Y. (1997) Population dynamics and fishery policy for migratory resources with two migration paths. *Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Science* 54: 2303-2313.
- 9) Yamauchi, A.; Matsumiya, Y. and Iwasa, Y. (1997) Optimal age-dependent sustainable harvesting of natural resource populations: Sustainability value. *Researches on Population Ecology* 39: 139-148.
- 10) Matsuda, H.; Yamauchi, A., Matsumiya, Y. and Yamakawa, T. (1999) Reproductive value, harvest value, and impact multiplier as indicators for maximum sustainable fisheries. *Environmental Economics and Policy Studies* 2: 129-146.

- 11) Yamauchi, A. (1999) Evolution of cyclic sexual reproduction under host-parasite interactions. *Journal of Theoretical Biology* 201: 281-291.
- 12) Yamauchi, A. (2000) Population persistence time under intermittent control in stochastic environment. *Theoretical Population Biology* 57: 391-398.
- 13) Yamauchi, A. (2000) Theory of resource allocation strategy in territorial male tropical reef fishes. *Journal of Ethology* 18: 115-121.

#### 著書

- 14) Iwasa, Y.; Ezoe, H. and Yamauchi, A. (1994) Evolutionarily stable seasonal timing of univoltine and bivoltine insects. In: *Insect life-cycle polymorphism: theory, evolution and ecological consequences for seasonality and diapause control.* (H.V. Danks and S. Masaki eds) Kluwer Academic Publ. 69-89.

#### その他

- 15) 山内 淳 (1993) 種内托卵の量的遺伝モデル. *数理解析研究所講究録* 827: 134-145.
- 16) 山内 淳 (1993) 種内托卵から種間托卵へ. *数理解析研究所講究録* 828: 11-22.
- 17) 山内 淳 (1994) ベーツ氏擬態のpopulation dynamics. *数理解析研究所講究録* 870: 141-152.
- 18) 山内 淳 (1995) 鳥類における托卵行動の進化 - 野外観察・実験と理論 - . (総説) *日本生態学会和文誌* 46: 131-144.
- 19) 山内 淳 (1995) 動物行動の数理モデル - 鳥の托卵行動を例に - . *病態生理* 14: 682-688.
- 20) 山内 淳 (1996) 水産資源学への最適理論の応用. *個体群生態学会報* 53: 57-62.
- 21) 山内 淳 (1996) 水揚げ金額最大化の管理方策. *月刊海洋* 28: 617-621.

#### 訳書

- 22) Krebs, J.R. and Davies, N.B. (山岸 哲; 巖佐庸監訳, 山内 淳; 永田尚志, 浦野栄一郎, 中村雅彦訳) (1994) 「行動生態学: 進化的アプローチ (原書第3版)」 "Behavioural Ecology: An Evolutionary Approach (Third Edition)" 蒼樹書房.



原著論文

FUJITA, Ai 藤田 愛

---

Fujita, A.; Shimizu, I. and Abe, T. (2001) Distribution of lysozyme and protease, and amino acid concentration in the guts of a wood-feeding termite, *Reticulitermes speratus* (Kolbe): possible digestion of symbiont bacteria transferred by trophallaxis. *Physiological Entomology* 26(2): 116-123.

HATADA, Aya 畑田 彩

---

Hatada, A.; Ishiguro, S., Itioka, T., Kawano, S. (2001) Myrmecosymbiosis in the Bornean *Macaranga* species with special reference to food bodies (Beccarian bodies) and extrafloral nectaries. *Plant Species Biology* 16: 241-246.

Itino, T.; Itioka, T., Hatada, A., Hamid, A.A. (2001) Effects of food rewards offered by ant-plant *Macaranga* on the colony size of ants. *Ecological Research* 16: 775-786.

HYODO, Fujio 兵藤不二夫

---

Hyodo, F.; Tayasu, I., Azuma, J.-I., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2001) Effect of the soil-feeding termite, *Dicuspidermes makhamensis*, on soil carbon structure in a seasonal tropical forest as revealed by CP/MAS C-13 NMR. *Sociobiology* 38: 487-493.

Tayasu, I.; Hyodo, F., Takematsu, Y., Sugimoto, A., Inoue, T., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2000) Stable isotope ratios and uric acid preservation in termites belonging to three feeding habits in Thailand. *Isotopes in Environmental and Health Studies* 36: 259-272.

Inoue, T.; Takematsu, Y., Hyodo, F., Sugimoto, A., Yamada, A., Klangkaew, C., Kirtibutr, N. and Abe, T. (2001) The abundance and biomass of subterranean termites (Isoptera) in a dry evergreen forest of northeast Thailand. *Sociobiology* 37: 41-52.

IWATA, Tomoya 岩田智也

---

Doi, A.; Iwata, T., Inoue, M., Miyasaka, H., Sabki, M.S. and Nakano, S. (2001) A collection of freshwater fishes from the Rayu basin of western Sarawak, Malaysia. *Raffles Bulletin of Zoology* 49: 13-17.

Konishi, M.; Nakano, S. and Iwata, T. (2001) Trophic cascading effects of predatory fish on leaf litter processing in a Japanese stream. *Ecological Research* 16: 415-422.

KAGAMI, Maiko 鏡味麻衣子

---

Kagami, M. & Urabe, J. (2001) Phytoplankton growth rate as a function of cell size: an experimental test in Lake Biwa. *Limnology* 2: 111-117.

Gurung, T.B.; Kagami, M., Yoshida, T. & Urabe, J. (2001) Relative importance of biotic and abiotic factors affecting bacterial abundance in Lake Biwa: an empirical analysis. *Limnology* 2: 19-28.

Yoshida, T.; Kagami, M., Gurung, T.B. & Urabe, J. (2001) Seasonal succession of zooplankton in Lake Biwa. *Aquatic Ecology* 35: 19-29.

Yoshida, T.; Gurung, T.B., Kagami, M. & Urabe, J. (2001) Contrasting effects of a cladoceran (*Daphnia galeata*) and a calanoid copepod (*Eodiaptomus japonicus*) on algal and microbial plankton in a Japanese lake, Lake Biwa. *Oecologia* 129: 602-610.

中西正己; 野崎健太郎, 鏡味麻衣子, 神松幸弘 (2001) 琵琶湖の近況 - 植物プランクトン群集 - . *海洋科学研究* 14: 104-111.

KOHMATSU, Yukihiro 神松幸弘

---

Kohmatsu, Y.; Nakano, S. and Yamamura, N. (2001) Effects of head shape variation on growth, metamorphosis and survivorship in larval salamanders (*Hynobius retardatus*). *Ecological Research* 16: 73-83.

Kohmatsu, Y. (2001) Wider head shape in larval salamanders (*Hynobius retardatus*) induced by conspecific visual and chemical cues. *Current Herpetology* 20: 27-31.

Kohmatsu, Y. (2001) Effects of head shape variation on diet selection in larval salamander, *Hynobius retardatus*. *Current Herpetology* 20: 63-67.

MARUYAMA, Atsushi 丸山 敦

---

Maruyama, A.; Yamada, Y., Rusuwa, B., and Yuma, M. (2001) Change in stable nitrogen isotope ratio in the muscle tissue of a migratory goby, *Rhinogobius* sp., in a natural setting. *Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences* 58: 2125-2128.

Maruyama, A.; Yamada, Y., Yuma, M., and Rusuwa, B. (2001) Stable nitrogen and carbon isotope ratios as migration tracers of a landlocked goby, *Rhinogobius* sp. (the orange form), in the Lake Biwa water system. *Ecological Research* 16: 697-703.

MATSUI, Kazuaki 松井一彰

---

Matsui, K.; Ishii, N. and Kawabata, Z. (2001) Survival of genetically modified *Escherichia coli* carrying extraneous antibiotic resistance gene through microbial interactions. Bull. Environ. Contam. Toxicol. 66: 139-145.

Matsui, K.; Honjo, M. and Kawabata, Z. (2001) Estimation of the fate of dissolved DNA in thermally stratified lake water from the stability of exogenous plasmid DNA. Aquat. Microb. Ecol. 26: 95-102.

Matsui, K.; Jun, M-S., Ueki, M. and Kawabata, Z. (2001) Functional succession of bacterioplankton on the basis of carbon source utilization ability by BIOLOG plates. Ecol. Res. 16(5) : S91-S98.

MIYAKE, Yo 三宅 洋

---

Shibata, H.; Mitsuhashi, H. Miyake, Y. and Nakano, S. (2001) Dissolved and particulate carbon dynamics in a cool-temperate forested basin in northern Japan. Hydrological Process 15: 1817-1828.

TANAKA, Kenta 田中健太

---

田中健太; 堀真人 (2001) 日本における開かれた野外研究体制の整備に向けて. 日本生態学会誌 51(3): 255-260.

YOSHIMIZU, Chikage 由水千景

---

Yoshimizu, C.; Yoshida, T., Nakanishi, M., and Urabe, J. (2001) Effects of zooplankton on the sinking flux of organic carbon in Lake Biwa. Limnology 2: 37-43.

その他

IWATA, Tomoya 岩田智也

---

岩田智也 (2001) 川の流れに集まる鳥たち. 月刊BIRDER 8月号: 21-23. 文一総合出版.

岩田智也 (2001) 川の流れ方が鳥の分布を変える. 月刊BIRDER 8月号: 28-31. 文一総合出版.

## C. Guest Scientists 協力研究員

---

---

---

FUJISHIMA, Masahiro 藤島政博

---

- 1) Sugii, M. and Fujishima, M. (2001) Purification of GVBD-inducing protein from the ciliate *Tetrahymena thermophila*. J. Eukaryot. Microbiol. 48(4): 414-424.
- 2) Skovorodkin, I.N.; Fokin, S.I. and Fujishima, M. (2001) Fates of the endonuclear symbiotic bacteria *Holospira obtusa* and *Holospira undulata* injected into the macronucleus of *Paramecium caudatum*. Europ. J. Protistol. 237(2): 137-145.
- 3) 川口明彦; 藤島政博, 大森正之, 石川 統, 西駕秀俊, 塚谷裕一, 上村慎治, 和田 勝, 嶋田正和 (2001) 第2章 細胞. In: 生物学入門 (大学生のための基礎シリーズ2) (ed. by 石川 統) pp. 23-48. 東京化学同人.
- 4) 木下正美; 藤島政博 (2001) 感染型 *Holospira obtusa* の核膜貫通部位特異的モノクローナル抗体. 日本動物学会中国四国支部会報 53: 6 .
- 5) 中村欽光; 堀 学, 藤島政博 (2001) 核内共生細菌ホロスポラオブツサの影響により発現が抑制される宿主遺伝子. 日本動物学会中国四国支部会報 53: 7 .
- 6) 安田正治; 松岡達臣, 藤島政博 (2001) 繊毛虫ブレファリズマ光センサーオルガネラはバクテリア起源か? 日本動物学会中国四国支部会報 53: 7 .

HANBA, Yuko 半場祐子

---

- 1) Hanba, Y.T.; Miyazawa, S., Kogami, H. and Terashima, I. (2001) Effects of leaf age on internal CO<sub>2</sub> transfer conductance and photosynthesis in tree species having different types of shoot phenology. Australian Journal of Plant Physiology 28: 1075-1084.
- 2) Kogami, H.; Hanba, Y.T., Kibe, T., Terashima, I. and Masuzawa, T. (2001) CO<sub>2</sub> transfer conductance, leaf structure and carbon isotope discrimination of *Polygonum cuspidatum* leaves from low and high altitude. Plant, Cell, and Environment 24(5): 529-538.
- 3) Terashima, I.; Miyazawa, S. and Hanba, Y.T. (2001) Why are sun leaves thicker than shade leaves? - consideration based on analyses of CO<sub>2</sub> diffusion in the leaf. Journal of Plant Research 114: 93-105.

INUBUSHI, Kazuyuki 犬伏和之

---

- 1) Suzuki, H.; Kumagai, H., Oohashi, K., Sakamoto, K., Inubushi, K. and Enomoto, S. (2001) Transport of trace elements through the hyphae of an arbuscular mycorrhizal fungus into marigold measured by the multitracer technique. Soil Sci. Plant Nutr. 47(1): 131-137.

- 2) 古川勇一郎; 辻 堯, 犬伏和之 (2001) 含鉄資施用による水田からのメタン放出抑制. 日本土壤肥料学雑誌 72(2): 257-264.
- 3) Cheng, W.; Inubushi, K., Yagi, K., Sakai, H. and Kobayashi, K. (2001) Effect of elevated CO<sub>2</sub> on biological nitrogen fixation, nitrogen mineralization and carbon decomposition in submerged rice soil. *Biology and Fertility of Soils* 34: 7-13.
- 4) Inubushi, K.; Sugii, H., Nishino, S. and Nishino, E. (2001) Effect of aquatic weeds on methane emission from submerged paddy soil. *Am. J. Botany* 88(6): 975-979.
- 5) Hadi, A.; Haridi, M. and Inubushi, K. (2001) Effect of land-use change in tropical peat soil on the microbial population and emission of greenhouse gases. *Microbes and Environments* 16(2): 79-86.
- 6) Hadi, A.; Inubushi, K. (2001) Applicability of method to measure organic matter decomposition in peat soils. *Indonesian Journal of Agricultural Sciences* 1: 25-28.
- 7) Li, H.; Inubushi, K. and Miwa, J. (2001) Effect of bacteria-feeding nematode (*Caenorhabditis elegans*) on nitrogen mineralization in microcosms under different temperature. *Microbes and Environments* 16(3): 141-146.
- 8) Inubushi, K.; Hoque, Md.M., Miura, S., Kobayashi, K., Kim, H.-Y., Okada, M. and Yabashi, S. (2001) Effect of free-air CO<sub>2</sub> enrichment (FACE) on microbial biomass in paddy field soil. *Soil Sci. Plant Nutr.* 47(4): 737-745.
- 9) Hoque, M.M.; Inubushi, K., Miura, S., Kobayashi, K., Kim, H.-Y., Okada, M. and Yabashi, S. (2001) Biological dinitrogen fixation and soil microbial biomass carbon as influenced by free-air carbon dioxide enrichment (FACE) at three levels of nitrogen fertilization in a paddy field. *Biol. Fertil. Soils* 34: 453-459.

ITINO, Takao 市野隆雄

---

- 1) Itino, T.; Itioka, T. (2001) Interspecific variation and ontogenetic change in antiherbivore defense in myrmecophytic *Macaranga* species. *Ecological Research* 16: 765-774.
- 2) Itino, T.; Itioka, T., Hatada, A., Hamid, A.A. (2001) Effects of food rewards offered by ant-plant *Macaranga* on the colony size of ants. *Ecological Research* 16: 775-786.
- 3) Itino, T.; Davies, S.J., Tada, H., Hieda, Y., Inoguchi, M., Itioka, T., Yamane, S., Inoue, T. (2001) Cospeciation of ants and plants. *Ecological Research* 16: 787-793.
- 4) Inui, Y.; Itioka, T., Murase, K., Yamaoka, R., Itino, T. (2001) Chemical recognition of partner plant species by foundress ant queens in *Macaranga-Crematogaster* myrmecophytism. *Journal of Chemical Ecology* 27: 2029-2040.
- 5) 市野隆雄; 市岡孝朗 (2001) 生物間相互作用の歴史的過程 - アリ植物をめぐる生物群集の共進化. In: 群集生態学の現在 (ed. by 佐藤宏明; 安田弘法, 山本智子) pp. 353-370. 京都大学学術出版会, 京都.
- 6) 市野隆雄 (2001) 本書の構成. In: 熱帯雨林の生態学 - 生物多様性の世界を探る (井上民二 (著) ed. by 小林茂; 市野隆雄, 松原正毅, 井上綾子) pp. viii-xii. 八坂書房, 東京.

- 1 ) Itioka, T.; Inoue, T., Kaling, H., Kato, M., Nagamitsu, T., Momose, K., Sakai, S., Yumoto, T., Mohamad, S.U., Hamid, A.A. and Yamane, Sk. (2001) Six-year population fluctuation of the giant honey bee *Apis dorsata* F. (Hymenoptera: Apidae) in a tropical lowland dipterocarp forest in Sarawak. *Annals of Entomological Society of America* 94: 545-549.
- 2 ) Inui, Y.; Itioka, T., Murase, K., Yamaoka, R. and Itino, T. (2001) Chemical recognition of partner plant species by foundress ant queens in *Macaranga-Crematogaster* myrmecophytism. *Journal of Chemical Ecology* 27: 2029-2040.
- 3 ) Hatada, A.; Ishiguro, S., Itioka, T., Kawano, S. (2001) Myrmecosymbiosis in the Bornean *Macaranga* species with special reference to food bodies (Beccarian bodies) and extrafloral nectaries. *Plant Species Biology* 16: 241-246.
- 4 ) Itino, T.; Itioka, T. (2001) Interspecific variation and ontogenetic change in anti-herbivore defense in myrmecophytic *Macaranga* species. *Ecological Research* 16: 765-774.
- 5 ) Itino, T.; Itioka, T., Hatada, A. and Hamid, A.A. (2001) Effects of food rewards offered by ant-plant *Macaranga* on the colony size of ants. *Ecological Research* 16: 775-786.
- 6 ) Itino, T.; Davies, S.J., Tada, H., Hieda, Y., Inoguchi, M., Itioka, T., Yamane, S. and Inoue, T. (2001) Cospeciation of ants and plants. *Ecological Research* 16: 787-793.
- 7 ) Nomura, M.; Itioka, T. and Murase, K. (2001) Non-ant anti-herbivore defenses before plant-ant colonization in *Macaranga* myrmecophytes. *Population Ecology* 43: 207-212.
- 8 ) 市野隆雄; 市岡孝朗 (2001) 生物間相互作用の歴史的過程 - アリ植物をめぐる生物群集の共進化. In: 群集生態学の現在 (ed. by 佐藤宏明; 山本智子, 安田弘法) pp. 353-370. 京都大学学術出版会, 京都.
- 9 ) 市岡孝朗 (2001) 林冠における動物と植物の相互作用. *科学* 71: 1198-1203.

- 1 ) Herrera, L.R and Kakehashi, M. (2001) An international data analysis on the level of maternal and child health in relation to socioeconomic factors. *Hiroshima Journal of Medical Sciences* 50(1): 9-16.
- 2 ) Kakehashi, M. (2001) Epidemic prediction models of HIV/AIDS. In: *Theoretical Epidemiology of Infectious Diseases. Second Edition Volume I* (ed. by Geng, J.P. and Xu, D.Z.) pp. 64-86. Hong Kong Tranfor Publishing.

- 1 ) 亀田佳代子 (2001) 動物を介した生態系間の物質輸送. *化学と生物* 39: 245-251.
- 2 ) Hobara, S.; Osono, T., Koba, K., Tokuchi, N., Fujiwara, S., and Kameda, K. (2001) Forest floor

quality and N transformations in a temperate forest affected by avian-derived N deposition. Water, Air, and Soil Pollution 130: 679-684.

- 3) 亀田佳代子 (2001) 鳥を通してつながる世界. In: 知ってますかこの湖を - びわ湖を語る 50章 (ed. by 琵琶湖百科編集委員会) pp. 79-84. サンライズ出版, 滋賀.

KANEKO, Nobuhiro 金子信博

---

- 1) 金子信博; 久松真紀子, 中西準子 (2001) 土壌汚染による土壌動物に関する生態リスクの解析. Edaphologia 67: 1-14.

KAWANABE, Hiroya 川那部浩哉

---

2000年 (追加)

- 965) 川那部浩哉 (2000) 一生態学者として私は分類学に何をもとめているか. 日本動物分類学関連学会連合ニュースレター 1: 5.

2001年

- 966) 川那部浩哉 (2001) 歴史のヒーロー・ヒロイン 宮武外骨: 『山東京傳』の著者でもあった人. 本郷 30: 27. 吉川弘文館, 東京.
- 967) 川那部浩哉 (2001) 推薦の言葉. 環境学と環境教育 (鈴木紀雄と環境教育を考える会編) おび. かもがわ出版, 京都.
- 968) 川那部浩哉 (2001) マザーレイク新世紀 > 1 < 世界湖沼会議に向けて. 産経新聞 2001/1/8.
- 969) 川那部浩哉 (2001) 環境ホルモン問題に思う - 生態学の視点から. 環境ホルモン 文明・社会・生命 1: 40-51. 藤原書店, 東京.
- 970) 今森光彦; 川那部浩哉, 土岐小百合 (2001) 里山から湖と人間を考える. うみんど 17: 2-3.
- 971) 川那部浩哉 (2001) 2000年読書アンケート. みすず 478: 46-47.
- 972) 川那部浩哉 (2001) コメント: 作品としての良さ. Challenge 21! 「あなたの提言」 4: 6. 日本育英会, 東京.
- 973) 川那部浩哉 (2001) はじめに. 琵琶湖博物館資料目録 4: 1.
- 974) 川那部浩哉 (2001) 「ブラックバス」をめぐって. 絆 17: 5. 寺田法律事務所, 京都.
- 975) 安井彩; 田中亜由子, 衣笠友美子, 岩澤佳奈, 大西佑季, 阪本いづき, 原矩子, 川那部浩哉, 中川修 (2001) 中学生・高校生が博物館に望むこと. うみんど 18: 2-3.
- 976) 川那部浩哉 (2001) 21世紀の環境問題を問う - 生態学の一視点から. 環境情報科学 30(1): 33-37.
- 977) 川那部浩哉 (2001) 湖と人間 (琵琶湖博物館紙上講座) 1. 命と文化育てた琵琶湖. 夕刊読売新聞 2001/4/4.
- 978) 川那部浩哉 (2001) 「世界湖沼会議」に寄せて - 水文学と水資源学と陸水学と -. 水文・水資源学会誌 14: 119-120.

- 979) Kawanabe, H. ed. (2001) Annual Report 2000 under Creative Basic Research Program, An Integrated Study on Biodiversity Conservatiuon under Global Change and Bio-inventory Management System. iv+iv+86 pp. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 980) Kawanabe, H. (2001) Preface. Annual Report 1999 under Creative Basic Research Program, An Integrated Study on Biodiversity Conservatiuon under Global Change and Bio-inventory Management System edited by Kawanabe, H., i-ii.
- 981) 川那部浩哉 (2001) 科学と歴史: 生物学と生物科学と生命科学と. 科学 71: 481-483.
- 982) 川那部浩哉 (2001) 「歌合」のさばき. 鷹 - 俳句雑誌 38(5): 14-15.
- 983) 川那部浩哉 (2001) 私と野生生物 - 理事の紹介 - . 野生生物保全論研究会会報 1: 14.
- 984) 川那部浩哉 (2001) 生物学的多様性について - 「生命」の賑わいの楽しさ - . 21世紀社会変革へのメッセージ - 地球環境関西フォーラム100人委員会個人提言集 - (地球環境関西フォーラム編) 110-114. 日本工業新聞社, 東京.
- 985) 川那部浩哉 (2001) はじめに. 生命の賑わいを目指して - 生物多様性の保全 - 1-2. 地球環境関西フォーラム, 大阪. (環境の世紀 - 関西からの発信 - (地球環境関西フォーラム編) 38 所収)
- 986) 寺川庄蔵; 松ヶ根典雄, 保母武彦, 清水重蔵, 猿山弘子, 飯島博, 近藤月彦, 井手慎司, 川那部浩哉ほか (2001) 総合ディスカッション「世界湖沼会議へ向けて」. 世界湖沼会議ブレNGOワークショップ2000 (湖沼会議市民ネット編) 19-29.
- 987) 川那部浩哉 (2001) 絶滅危惧種と生物学的多様性. 水環境学会誌 24: 263.
- 988) 川那部浩哉 (2001) 自然法爾のこと - 自然を創り得るのは自然だけ - . 野間宏の会会報 8: 40-42. 藤原書店, 東京.
- 989) 川那部浩哉 (2001) 奇妙な演劇, コンサートに明け暮れ. 朝日新聞夕刊 2001/6/8.
- 990) 中野晴生; 川那部浩哉, 用田政晴 (2001) 日本列島の湖沼とその伝説. うみんど 19: 2-3.
- 991) 川那部浩哉 (2001) 「第9回世界湖沼会議」の開催に向けて - 実行委員会川那部浩哉委員 (琵琶湖博物館館長) に聞く - . さらさ 2000 (summer): 12. 河川情報センター, 大阪.
- 992) 川那部浩哉 (2001) 生態系保全における河川の役割と重要性. 第9回自然共生河川研究会 5-23. リバーフロント整備センター・ダム水源地環境整備センター, 東京.
- 993) 川那部浩哉 (2001) ごあいさつ. 琵琶湖博物館5周年記念企画展・第9回企画展展示解説書 鯰 - 魚がむすぶ琵琶湖と田んぼ - (宮本真二編) 2. 琵琶湖博物館, 草津.
- 994) 川那部浩哉 (2001) シーボルトの足跡とナマズ. 琵琶湖博物館5周年記念企画展・第9回企画展展示解説書 鯰 - 魚がむすぶ琵琶湖と田んぼ - (宮本真二編) 83-86. 琵琶湖博物館, 草津.
- 995) 川那部浩哉 (2001) はしがき. 琵琶湖のカルデラ形成史の研究. (琵琶湖基盤地質研究会編) 琵琶湖博物館研究調査報告 15: ii.
- 996) 川那部浩哉; 水野信彦, 細谷和海編・監修 (2001) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚 第3版 (改訂版) 6+720 pp. 山と溪谷社, 東京.
- 997) 川那部浩哉 (2001) ごあいさつ. 琵琶湖博物館年報 5: 1.
- 998) 川那部浩哉; 宮村不二子 (2001) 川辺・海辺・山辺・・・, 「辺」こそが大切. ちょっといい話 5: 271-275. 一心寺, 大阪.
- 999) 川那部浩哉; 宮村不二子 (2001) 「湖と人間」のつきあいの歴史 - 琵琶湖博物館のこと.

ちょっといい話 5: 330-334. 一心寺, 大阪.

- 1000) 川那部浩哉; 福永勝也 (2001) エコツーリズムの在り方. 保全協調へ覚悟も. 毎日新聞 2001/9/25.
- 1001) 加藤登紀子; 川那部浩哉, 嘉田由紀子 (2001) 私たちの歌 - 湖沼会議に寄せる -. うみんど 20: 2-3.
- 1002) 原田紀子; 川那部浩哉 (2001) 羽織袴で出勤. 聞き書き着物と日本人 - つくる技, 着る技 (原田紀子著) 63-75. 平凡社新書, 東京.
- 1003) 川那部浩哉; 宇城昇 (2001) 湖沼会議を前に. 「環境の世紀」出発点に, 見直そう先進国の生活様式. 毎日新聞 2001/11/6.
- 1004) 川那部浩哉 (2001) 推薦のことは. 琵琶湖の魚 (今森洋輔著) カバー・おび. 偕成社, 東京.
- 1005) 川那部浩哉 (2001) 琵琶湖の総合保全: 過去・現在・未来. 知っていますかこの湖を - びわ湖を語る50章 (琵琶湖百科編集委員会編) 5: 335-340. サンライズ出版, 彦根.
- 1006) 川那部浩哉; 仁連孝昭, 西尾好未 (2001) 琵琶湖から世界へ - 「環境の世紀」発信 京都新聞 2001/11/10.
- 1007) 山崎圭; 川那部浩哉 (2001) ごあいさつ. 今昔写真でみる世界の湖沼の100年 (嘉田由紀子編) 3-4. 国際湖沼環境委員会・琵琶湖博物館, 草津.
- 1008) 川那部浩哉 (2001) 基調講演 - 反省からはじまる「環境の世紀」中日新聞 2001/11/13.
- 1009) 川那部浩哉; 宇城昇 (2001) 基調講演 - 自然との対話が基本. 毎日新聞 2001/11/13.
- 1010) 川那部浩哉 (2001) 生き物の声に耳を澄まして. 産経新聞 2001/11/15.
- 1011) 川那部浩哉 (2001) 内湖に対する市民の「思い」が重要. ガバナンス 1: 29. ぎょうせい, 東京.
- 1012) 川那部浩哉 (2001) 生命文化複合体としての琵琶湖 - それをいかに取り戻すか -. PORTAL 12: 30. 河川情報センター, 東京.
- 1013) Kawanabe, H. (2001) Obituanes: Takuya Abe (1945-2000), Masahiko Higashi (1954-2000) and Shigeru Nakano (1962-2000). *Biology International*, 42: 43-44.
- 1014) 川那部浩哉 (2001) はしがき. 安心院動物化石群 (高橋啓一, 北林栄一編). 琵琶湖博物館研究調査報告, 18: ii.

KONNO, Yasuo 紺野康夫 \_\_\_\_\_

- 1) Konno, Y. (2001) Feedback regulation of constant leaf standing crop in *Sasa tsuboiana* grasslands. *Ecological Research* 16: 459-469.

MORINO, Hiroshi 森野 浩 \_\_\_\_\_

- 1) 田代美穂; 富山清升, 森野 浩 (2001) 潤沼水系におけるカワザンショウガイの分布と各地域集団の個体群構造. *Venus* 60(1/2): 79-91.

- 2) 戸塚利明; 森野 浩 (2001) 十和田湖におけるトゲオヨコエビ (*Eogammarus kygi*) の分布と個体群組成. 国立環境研究所 第167号: 38-46.
- 3) 森野 浩 (2001) 茨城県央沿岸域の海産無脊椎動物. 概説. 茨城県自然博物館第二次総合調査報告書 (1997-1999) p. 417.

NAGAMITSU, Teruyoshi 永光輝義

---

- 1) Nagamitsu, T.; Ichikawa, S., Ozawa, M., Shimamura, R., Kachi, N., Tsumura, Y., Muhammad, N. (2001) Microsatellite analysis of the breeding system and seed dispersal in *Shorea leprosula* (Dipterocarpaceae). International Journal of Plant Sciences 162: 155-159.
- 2) Itioka, T.; Inoue, T., Kaling, H., Kato, M., Nagamitsu, T., Momose, K., Sakai, S., Yumoto, T., Mohamad, S.U., Hamid, A.A., Yamane, S. (2001) Six-year population fluctuation of the giant honey bee *Apis dorsata* (Hymenoptera: Apidae) in a tropical lowland dipterocarp forest in Sarawak. Annals of the Entomological Society of America 94: 545-549.
- 3) 永光輝義 (2001) 資源分割のパターンとその成立機構 - 熱帯八ナバチ群集. In: 群集生態学の現在 (ed. by 佐藤宏明; 山本智子, 安田弘法) pp. 147-168. 京都大学学術出版会, 京都.

NAKAMURA, Koji 中村浩二

---

- 1) Nakamura, K. & Katakura, H. (eds.) (2001) Diversity of Indonesian insect: perspectives from population dynamics and evolutionary biology. Tropics10(3)(Special Issue): 313-507.
- 2) Nakamura, K. & Katakura, H. (2001) Diversity of Indonesian insect: perspectives from population dynamics and evolutionary biology. Preface. Tropics 10(3) (Special Issue). 313-324.
- 3) Ito, F.; Yamane, S., Noerdjito, W.A., Kahono, S., Tsuji, K., Ohkawara, K., Yamauchi, K., Nishida, T. & Nakamura, K. (2001) Ant species diversity in the Bogor Botanic Garden, West Java, Indonesia, with description of two new species of genus *Leptanilla* (Hymenoptera, Formicidae). Tropics 10: 379-404.
- 4) Kahono, S.; Tokunaga, M., Kimura, M.T., Nakamura, K. & Katakura, H. (2001) Diapause and tolerance to extreme temperatures in tropical, subtropical and temperate populations of the ladybird beetle *Epilachna vigintioctopunctata*. Tropics 10: 363-368.
- 5) Kamata, N.; Dahelmi, Erniwati, Nakamura, K. & Schaffer, P.W. (2001) Three tropical *Lymantria* spp. attracted by (+)-disparlure, the synthetic sex pheromone of the gypsy moth: moth abundance, seasonality, and trap lure effectiveness. Tropics 10: 473-480.
- 6) Katakura, H.; Nakano, S., Kahono, S., Abbas, I. & Nakamura, K. (2001) Epilachnine ladybird beetles (Coleoptera, Coccinellidae) of Sumatra and Java. Tropics 10: 325-352.
- 7) Nakamura, K.; Kahono, S., Hasan, N., Abbas, I., Nakano, S., Koji, S., Hasyim, A., Astuti, D. & Syafril (2001) Long-term dynamics of phytophagous lady beetle populations under different climate conditions in Sumatra and Java, Indonesia. Tropics 10: 427-448.

- 8) Nakano, S.; Katakura, H., Abbas, I., Kahono, S. & Nakamura, K. (2001) Oviposition patterns of Asian phytophagous ladybird beetles (Coleoptera, Coccinellidae, Epilachninae). *Tropics* 10: 353-362.
- 9) Nakano, S.; Nakamura, K. & Abbas, I. (2001) Survivorship and fertility schedules of a non-pest phytophagous lady beetle, *Epilachna pytho* (Coleoptera, Coccinellidae) under laboratory conditions. *Tropics* 10: 369-378.
- 10) Nishida, T.; Nakamura, K. & Noerdjito, W.A. (2001) Population dynamics of an isolated population of the tropical pyrrhocorid bug, *Melamphaus faber*, feeding on seeds of *Hydnocarpus* trees and the specialist predator, *Raxa nishidai* in Bogor, West Java, Indonesia. *Tropics* 10: 429-462.
- 11) Sakai, C.; Subiakto, A., Kahono, S., Kamata, N. & Nakamura, K. (2001) Lepidopterous insects found in the nursery of the four species of the genus *Shorea* in Bogor, Indonesia. *Tropics* 10: 481-488.
- 12) Sota, T.; Nakano, S., Hasan, N., Hasyim, A., Syafril & Nakamura, K. (2001) Fluctuation in the abundance of terrestrial arthropods at an arable field in West Sumatran highland. *Tropics* 10: 463-472.
- 13) Tanaka, S.; Katagiri, C., Arai, T. & Nakamura, K. (2001) Continuous variation in wing length and flight musculature in a tropical field cricket, *Teleogryllus derelictus*: implications for the evolution of wing dimorphism. *Entomol. Sci.* 4: 195-208.

NISHIMURA, Noboru 西村 登

---

- 1) 西村 登 (2001) ヒゲナガカワトビケラ幼虫の方言. *兵庫陸水生物* 53: 57-58.
- 2) 西村 登; 信本 励, 三橋弘宗 (2001) 山陰・北陸・近畿地方 16 河川における底生動物の現存量とそれに関連する要因. *ホシザキグリーン財団研究報告* 5: 161-206.
- 3) 西村 登; 本庄四郎, 菅村定昌 (2001) 遊ぼう学ぼう但馬の川と. 103pp. 但馬ふるさとづくり協会, 兵庫.
- 4) 西村 登; 稲田和久, 上野哲郎, 大前 晋, 久後地平, 信本 励 (2001) 大屋町の水生昆虫. In: 大屋町史自然編 (ed. by 大屋町史編集委員会) pp. 447-468, 716-723. 大屋町, 兵庫.
- 5) 西村 登 (2001) 河川底生動物の現存量に関する研究. In: 第 8 回河川整備基金助成事業成果発表会 - 良好な河川環境をめざして - 概要集 (ed. by 河川環境管理財団) pp. 34. 河川環境管理財団, 東京 .

NOZAKI, Kentaro 野崎健太郎

---

- 1) 野崎健太郎 (2001) 琵琶湖北湖沿岸帯で採集された糸状緑藻 *Spirogyra* sp. の光合成および呼吸に対する夏期水温の影響: 野外試料を用いた実験的解析. *陸水生物学報* 16: 1-3.
- 2) Nozaki, K. (2001) Abrupt change in primary productivity in a littoral zone of Lake Biwa with

the development of a filamentous green-algal community. *Freshwater Biology* 46: 587-602.

- 3 ) Nozaki, K. (2001) Areal Phosphorus amount in a littoral and pelagic zone in the north basin of Lake Biwa. *Proceedings of the International Conference on the Conservation and Management of Lake 9*: 102-105.
- 4 ) 中西正己; 野崎健太郎, 鏡味麻衣子, 神松幸弘 (2001) 琵琶湖の近況 - 植物プランクトン群集 - . *海洋化学研究* 14: 104-111.
- 5 ) Nozaki, K. and Mitsuhashi, H. (2001) Nutrient accumulation by a bloom of the filamentous green alga *Spirogyra* sp. in the littoral zone of the north basin of Lake Biwa. *Verh. Internat. Verein. Limnol.* 27: 2660-2664.
- 6 ) Nakamoto, N.; Yasuda, M., Sakai, M. and Nozaki, K. (2001) Oxygen production and bubble formation by algal mat on the bed in a slow sand filter pond. *Verh. Internat. Verein. Limnol.* 27: 3092-3096.

#### OCHI, Haruki 越智晴基

---

- 1 ) Ochi, H.; Kanda, T. and Yanagisawa, Y. (2001) Nest building and brooding behavior of the bagrid catfish *Auchenoglanis occidentalis* (Valenciennes, 1840), in Lake Tanganyika. *Copeia* 2001: 566-570.
- 2 ) Ochi, H.; Onchi, T. and Yanagisawa, Y. (2001) Alloparental care between catfishes in Lake Tanganyika. *J. Fish Biology* 59: 1279-1286.
- 3 ) Ochi, H.; Rossiter, A. and Yanagisawa, Y. (2001) Biparental mouthbrooding of the catfish *Phyllonemus filinemus* in Lake Tanganyika. *Ichthyological Research* 48: 225-229.

#### OHTAKA, Akifumi 大高明史

---

- 1 ) 小笠原伸治; 大高明史, 松本好弘 (2001) 津軽十二湖湖沼群におけるワカサギ (*Hypomesus nipponensis* McAllister) の齢および体長組成と採餌選択. *青森自然誌研究* 6: 17-25 .
- 2 ) 工藤明子; 向中野泉, 須藤いずみ, 大高明史 (2001) 魚のいない小湖沼 (津軽十二湖湖沼群・埋釜の池) におけるハリナガミジンコの生態学的研究. 1. 生活史と昼夜移動. *青森自然誌研究* 6: 27-35.
- 3 ) 向中野泉; 工藤明子, 須藤いずみ, 渡邊洋一, 大高明史 (2001) 魚のいない山間小湖沼 (津軽十二湖湖沼群・埋釜の池) におけるハリナガミジンコの生態学的研究. 2. 形態変異と捕食者の分布および採餌生態. *青森自然誌研究* 6: 37-44, 53 .
- 4 ) 加藤秀男; 高村典子, 上野隆平, 大高明史, 戸塚利明 (2001) 十和田湖沿岸域における底生動物群集構造の決定要因 - 餌環境と魚類による捕食からの検討. *国立環境研究所研究報告* 167: 75-88 .
- 5 ) 大高明史 (2001) 北日本の貧栄養カルデラ湖深底部における水生ミミズ相. *国立環境研究所研究報告* 167: 106-114.

6) Ohtaka, A. (2001) Oligochaetes in Lake Towada, Japan, an oligotrophic caldera. *Hydrobiologia* 463: 83-92.

OKUDA, Noboru 奥田 昇

---

- 1) Okuda, N. (2001) The costs of reproduction to males and females of a paternal mouthbrooding cardinalfish *Apogon notatus*. *J. Fish Biol.* 58: 776-787.
- 2) Okuda, N. and Ohnishi, N. (2001) Nocturnal hatching timing of mouthbrooding male cardinalfish *Apogon niger*. *Ichthyol. Res.* 48: 207-212.
- 3) 奥田 昇 (2001) 口内保育魚テンジクダイ類の雄による子育てと子殺し. In: 魚類の社会行動 1. (ed. by 桑村哲生; 狩野賢司) pp. 153-194. 海游舎, 東京.

SAKAMOTO, Kazunori 坂本一憲

---

- 1) Suzuki, H.; Kumagai, H., Oohashi, K., Sakamoto, K., Inubushi, K. and Enomoto, S. (2001) Transport of trace elements into *Tagetes patula* L. through the hyphae of arbuscular mycorrhizal fungus measured by the multitracer technique. *Soil Science and Plant Nutrition* 47(1): 131-137 .
- 2) 坂本一憲; 萩原妙子 (2001) キャベツ苗に生育促進効果を持つ糸状菌エンドファイトの選抜. *日本土壌肥料学雑誌* 72(3): 429-431 .
- 3) 鈴木弘行; 森 史子, 熊谷 宏, 坂本一憲, 犬伏和之 (2001) 希土類元素の添加とアーバスキュラー菌根の形成がマリーゴールドの生育に及ぼす影響. *日本土壌肥料学雑誌* 72(5): 627-632 .

SAKIO, Hitoshi 崎尾 均

---

- 1) 久保満佐子; 島野光司, 崎尾 均, 大野啓一 (2001) 地形と萌芽形態の関係からみたカツラの萌芽特性. *日本林学会誌* 83(4): 271-278.
- 2) 久保満佐子; 島野光司, 大野啓一, 崎尾 均 (2001) 秩父・大山沢溪畔林における高木性樹木の生育立地と植生単位の対応. *植生学会誌* 18(2): 75-85.
- 3) 崎尾 均 (共著) (2001) 山溪ハンディ図鑑 5 樹に咲く花. 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社, 東京.
- 4) 崎尾 均 (共著) (2001) 水辺林管理の手引 - 基礎と指針と提言 -. 溪畔林研究会編 213pp. 日本林業調査会, 東京.
- 5) 崎尾 均 (2001) ブックス (書評) 河川生態環境評価法. *森林科学* 31: 64.

- 1 ) Petrovskii, S.; Kawasaki, K., Takasu, F. and Shigesada, N. (2001) Diffusive waves, dynamical stabilization and spatio-temporal chaos in a community of three competitive species. *Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics* 18: 459-481.
- 2 ) Petrovskii, S. and Shigesada N. (2001) Some exact solutions of a generalized Fisher equation related to the problem of biological invasion. *Mathematical Biosciences* 172: 73-94.
- 3 ) Nunotani, H.; Kawasaki, K., Takasu, F., Togashi, K. and Shigesada, N. (2001) Spatial spread of pine wilt disease: modeling the dispersal distance distribution of the pine sawyer beetle, *monochamus alternatus*. In: *Protection of World Forests from Insect Pests: Advances in Research* (eds. H. Evans & A. Liebhold) IUFRO World Series 11: 79-85.

- 1 ) Suzuki, K.; Hara, K. & Hirabuki, Y. (2001) Studies on the vegetation of alluvial plains: commemoration of Prof. Dr. S. Okuda's Retirement. p. 133-141.

- 1 ) 只木良也 (2001) 1000年の生命を次の1000年へ - 国有林「森の巨人たち100選」 - . 随想森林 44: 4-6.
- 2 ) 只木良也 (2001) 柳は緑, 花はくれない. 森林インストラクター会報 42: 1-3.
- 3 ) 只木良也 (2001) 「め」は口ほどにものを言う. 森林インストラクター会報 43: 9-11.
- 4 ) 只木良也 (2001) はなし半分 - この木何歳? 森林インストラクター会報 44: 9-11.
- 5 ) 只木良也 (2001) 逐林・効用樹林・信用樹林. 森林インストラクター会報 45: 9-11.
- 6 ) 只木良也 (2001) 千三百年来のはげ山. 森林インストラクター会報 46: 7-9.
- 7 ) 只木良也 (2001) 四半世紀前の重要課題は今なお. 林業技術 712: 11.
- 8 ) 只木良也 (2001) 地球温暖化問題と森林. 長野県森林教育懇談会講演記録. pp. 12. 長野県林業大学校, 長野.
- 9 ) 只木良也 (2001) ことわざの生態学. 寒蘭 84: 116-119.
- 10) 只木良也; 参鍋秀樹, 河口順子, 橋本宣子, 中川有里 (2001) 名古屋市内・近郊二次林の遷移. 名古屋大学森林科学研究 20: 123-130.
- 11) 大崎正治; 小林 料, 只木良也, 中西正幸 (2001) 日本と東洋の自然観. In: 神々と森と人のいとなみを考える I. 森の巻 (ed. by 代々木の杜 80 フォーラム運営委員会) pp. 48-75. 明治神宮, 東京.
- 12) 只木良也 (2001) 樹林密度の基本的考え方. In: 堤防に沿った樹林帯の手引き (ed. by 河川環境管理財団). pp. 227-241. 山海堂, 東京.

- 1 ) Tanaka, S. (2001) Three species of the genus *Ilyocryptus* (Anomopoda, Branchiopoda) occurring in Japan. *Limnology* 3(2): 219-222.
- 2 ) 田中 晋 (2001) 黒部川の淡水魚. In: 黒部川物語. (長井真隆監修) pp. 38-41. ハート工房.

- 1 ) 田村 實; 上田恵介 (2001) コルリの繁殖生態. *Strix* 19: 11-20.
- 2 ) 津吹 卓; 上田恵介 (2001) ビークマーク: 蝶の翅につけられた嘴の跡. *Strix* 19: 129-140.
- 3 ) Tamura, M. & Ueda, K. (2001) Female song in the Siberian Blue Robin *Luscinia cyane*. *J. Yamashina. Inst. Ornithol.* 32: 86-90.

- 1 ) Ishida, F.; Tian, G., and Wakatsuki, T. (2001) Indigenous knowledge and soil management. In : *Sustaining Soil Fertility in West Africa.* (ed. by G. Tian, F. Ishida and D. Keatinge) pp. 91-109. American Society of Agronomy and Soil Science Society of America, Special Publication No. 58, Madison, Wisconsin, USA.
- 2 ) Asubonteng, K.O.; Kubota, D., Hayashi, K., Masunaga, T., Andah, E.I., and Wakatsuki, T. (2001) Characterization and evaluation of inland valley watersheds for sustainable agricultural production: Case study of semi-deciduous forest zone in the Ashanti region of Ghana. *Tropics* 10(4): 539-553.
- 3 ) Asubonteng, K.O.; Kubota, D., Hayashi, K., Masunaga, T., Otto, E., and Wakatsuki, T. (2001) Effect of a Sawah-based farming system on rice cultivation in the inland valley bottom of the Ashanti region. *Tropics* 10(4): 555-564.
- 4 ) Kabeto, K.; Sawada, Y., Izumi, S., and Wakatsuki, T. (2001) Mantle sources and magma-crust interactions in volcanic rocks from the Northern Kenya Rift. *Geochemical Evidence, Lithos*, 56: 111-139.
- 5 ) Fashola, O.O.; Hayashi, K., Masunaga, T., and Wakatsuki, T. (2001) The use of polyolefin-coated urea to improve *Indica* rice cultivation in Sandy West Africa lowland conditions. *Tropical Agriculture* 45(2): 108-118.
- 6 ) Fashola, O.O. and Wakatsuki, T. (2001) Polyolefin-coated urea as a fertilizer for rice on soil with high nitrogen leaching loss. *International Rice Research Notes*: 26. 1: 31-32.
- 7 ) Masunaga, T.; Sato, K., Zennami, T., Fujii, S., and Wakatsuki, T. (2001) Application of the multi-soil-layering method to direct treatment of polluted river water, in proceedings of Asian water quality 2001. First IWA Asia-Pacific Regional Conference, Fukuoka, Japan. pp. 55-60.

- 8) 久馬一剛; 若月利之 (2001) 熱帯の低地土壌とその生産力評価. In: 熱帯土壌学. (ed. by 久馬一剛) pp. 157-197. 名古屋大学出版会, 名古屋.
- 9) 久馬一剛; 若月利之, 三浦憲蔵 (2001) 土壌塩類化とアルカリ化. In: 熱帯土壌学. (ed. by 久馬一剛) pp. 347-380. 名古屋大学出版会, 名古屋.
- 10) 若月利之; 久馬一剛 (2001) 土壌劣化/砂漠化. In: 熱帯土壌学. (ed. by 久馬一剛) pp. 381-406. 名古屋大学出版会, 名古屋.
- 11) 若月利之; 久馬一剛 (2001) 熱帯土壌の持続的管理 - アフリカを中心として. In: 熱帯土壌学. (ed. by 久馬一剛) pp. 407-428. 名古屋大学出版会, 名古屋 .
- 12) Wakatsuki, T.; Otto, E., Andah, W.E.I., Cobbina, J., Buri, M.M., and Kubota, D. (2001) Final report JICA/CRI integrated watershed management of inland valley in Ghana and West Africa. Ecotechnology Approach. pp. 1-337 + Appendix pp. 1-108. Japan International Cooperation Agency, Accra.
- 13) 若月利之 (2001) 日本熱帯生態学会公開シンポジウムの主旨「熱帯研究は何をめざすか - 熱帯生態学と国際協力」. Tropics Vol.11; No. 1, 2.
- 14) Luanmanee, S.; Attanandana, T., Masunaga, T., and Wakatsuki, T. (2001) The efficiency of a multi-soil-layering system on domestic wastewater treatment during the ninth and tenth years of operation. Ecological Engineering 18: 185-199.
- 15) 増永二之; 佐藤邦明, 青山知恵, 藤井俊逸, 善波孝人, 野辺一寛, 若月利之 (2001) 多段土壌層法による環境水質改善技術の開発 - 汚濁河川水の直接浄化 - . 用水と廃水 43(12): 1033-1040.

WATANABE, Mamoru 渡辺 守 \_\_\_\_\_

- 1) Watanabe, M. & Nishimura, M. (2001) Reproductive output and egg maturation in relation to mate-avoidance in monandrous females of the small copper, *Lycaena phlaeas* (Lycaenidae). Journal of the Lepidopterists' Society 54: 83-87.
- 2) 渡辺 守; 盆野峰崇 (2001) 多回交尾を行なう蝶類の雌の体内における無核精子の役割 . 生物科学 53: 113-122.

YAMADA, Yoshihiro 山田佳裕 \_\_\_\_\_

- 1) Ishihi, Y.; Yamada, Y., Ajisaka, T. and Yokoyama, H. (2001) Distribution of stable carbon isotope ratio in Sargassum Plants. Fisheries Science 67: 367-369.
- 2) Yamada, Y.; Koitabashi, T., Ueda, T. and Wada, E. (2001) Distribution of CH<sub>4</sub> in the north basin of Lake Biwa and tributary rivers. Limnology 2: 193-197.
- 3) Maruyama, A.; Yamada, Y., Yuma, M. and Rusuwa, B. (2001) Stable nitrogen and carbon isotope ratios as migration tracers of a landlocked goby, *Rhinogobius* sp. (the orange form), in the Lake Biwa water system. Ecological Research 16: 697-703.

- 4 ) Maruyama, A.; Yamada Y., Rusuwa B., and Yuma M. (2001) Change in stable nitrogen isotope ratio in the muscle tissue of a migratory goby, *Rhinogobius* sp. (the orange form), in a natural setting. Can. J. Fish. Aquat. Sci. 58: 2125-2128.

## 生態研セミナー

---

---

---

### 生態研セミナー スペシャル

2001年4月9日

"Evolutionary ecology at a host-parasitoid interaction"

Mark Fellowes (Imperial College, Centre for Population Biology, UK)

### 第132回 生態研セミナー

2001年4月20日

「ハワイ諸島をモデルに使った陸上生態系長期発達の研究」

"Long-term terrestrial-ecosystem development in the Hawaiian Islands"

北山兼弘 (京大大学生態学研究センター)

Kanehiro Kitayama (Center for Ecological Research, Kyoto University)

「ハケ岳地域の安山岩質土壌および中国黄土のリーチング実験とSr・Nd同位体組成：日本の土壌への  
黄砂鉱物の寄与と植物 - 土壌系の物質循環について」

"Mineralogical variation of Sr and Nd isotope ratios in andesite soils and Chinese loess using sequential extraction experiment: implications for the provenance of Japanese soils and the circulation in soil-plant system"

横尾頼子 (経済産業省産業技術総合研究所地質調査所)

Yoriko Yokoo (Geological Survey of Japan)

### 生態研セミナー スペシャル

2001年5月11日

"Salmon-insect interactions: winter food sources"

皆川 昇

Noboru Minagawa (State University of New York, Molecular Ecology)

### 第133回 生態研セミナー

2001年5月18日

「植物 - 植食者 - 捕食者三者相互作用系」

"Tritrophic interactions consisting of plants, herbivores and carnivores"

高林純示 (京大大学生態学研究センター)

Junji Takabayashi (Center for Ecological Research, Kyoto University)

「レトロポゾン解析によって明らかになった東アフリカ産カワスズメ科魚類の系統進化と祖先的多型の維持」

"Phylogenetic relationships and incomplete lineage sorting among cichlid fishes in East African lakes as revealed by analysis of the insertion of retroposons"

高橋一彦 (東京工業大学大学院生命理工学研究科)

Kazuhiko Takahashi (Graduate School of Bioscience and Engineering, Tokyo Institute of Technology)

### 第134回 生態研セミナー

2001年6月15日

「動物による種子散布 - 何をどこまで明らかにしてきたか」

"Seed dispersal by animals -its scope and object"

湯本貴和 (京大大学生態学研究センター)

Takakazu Yumoto (Center for Ecological Research, Kyoto University)

「光競争かそれとも窒素競争か - 生理生態学から森林の遷移を考える - 」

"Light competition or nitrogen competition? -possible mechanisms of forest succession-"

館野正樹 (東京大学大学院理学系研究科附属植物園日光分園)

Masaki Tateno (Botanical Gardens, Graduate School of Science, The University of Tokyo)

#### 生態研セミナー スペシャル

2001年7月5日

「同質倍数性の進化に関する理論的研究その他」

"Evolutionary theory of autopolyploidy and other topics"

山内 淳 (長崎大学生産科学研究科)

Atsushi Yamauchi (Graduate School of Science and Technology, Nagasaki University)

#### 第135回 生態研セミナー

2001年7月27日

「壊滅的噴火後の火山島 (パプアニューギニア・ロング島) および、カルデラ湖に最近出現した島 (モットモット) の侵入定着: 維管束植物」

"The colonisation of an island volcano (Long Island, Papua New Guinea) following a devastating eruption, and of a recently emerged island, Motmot, in its caldera lake: the vascular plants"

Rhett Daniel Harrison (Center for Ecological Research, Kyoto University)

「潮間帯に生息するハゼ科魚類の多様なアンモニア無毒化機構、特に高アンモニア環境下で生長するユニークなハゼを中心に」

"Various mechanisms of ammonia detoxification in intertidal gobiid fishes, with special reference to a unique goby (*Mugilogobius abei*) growing in hyper ammonia environment"

岩田勝哉 (和歌山大学教育学部生物学教室)

Katsuya Iwata (Biological Laboratory Faculty of Education, Wakayama University)

#### 第136回 生態研セミナー

2001年9月21日

「水界生態系における光 - 栄養塩バランスと生態転換効率: HSSを越えて」

"Light-nutrient balance and ecological transfer efficiencies in aquatic ecosystems: beyond HSS"

占部城太郎 (京大大学生態学研究センター)

Jotaro Urabe (Center for Ecological Research, Kyoto University)

「岩礁潮間帯の海藻群集の多様性維持機構におよぼす栄養塩と藻食の影響」

"Effect of nutrient availability and grazing on algal species diversity in a rocky intertidal shore"

野田隆史 (北海道大学大学院水産科学研究科)

Takashi Noda (Faculty of Fisheries, Hokkaido University)

#### 第137回 生態研セミナー

2001年10月17日

「生物多様性と生態系機能: 現状と将来の課題」

"Biodiversity and ecosystem functioning: current knowledge and future challenges"

Michel Loreau (Laboratoire d'Ecologie, UMR 7625, Ecole Normale Supérieure)

「アオコの原因生物 *Microcystis aeruginosa* の減少に関与する新たな生物的要因」

"Novel biological factors reducing *Microcystis aeruginosa* bloom"

川端善一郎 (京大大学生態学研究センター)

Zen'ichiro Kawabata (Center for Ecological Research, Kyoto University)

生態研セミナー スペシャル

2001年10月31日

「セクシャル・コンフリクトによる同所的種分化」

"Sympatric speciation by sexual conflict"

Sergey Gavrilovs (Department of Ecology and Evolutionary Biology, Department of Mathematics, University of Tennessee)

第138回 生態研セミナー

2001年11月16日

「土壌の生物活動と植物の生長との関係 - キシャヤスデとカラマツの研究から - 」

"Linking soil biological activity to plant growth: the train millipede and larch"

金子信博 (横浜国立大学環境情報研究院)

Nobuhiro Kaneko (Graduate School of Environment & Information Sciences, Yokohama National University)

「食物連鎖構造にフィードバック・ループを組み込む」

"Incorporating feedback loop into food chain structure"

大串隆之 (京大大学生態学研究センター)

Takayuki Ohgushi (Center for Ecological Research, Kyoto University)

生態研セミナー スペシャル

2001年11月19日

"Modelling of phytoplankton dynamics in Lake Baikal"

Sergei V. Semovski (Limnological Institute SB RAS)

第139回 生態研セミナー

2001年12月21日

「過去1千万年、シベリア内陸における植被交替の地球史」

"A 10 million years record of vegetation changes in Siberian interior"

河室公康 (森林総合研究所関西支所)

Kimiyasu Kawamuro (Kansai Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute)

「ハマキガは葉の質を変えるか？」

"Do leaf-rolling caterpillars improve leaf quality?"

福井晶子 (京大大学生態学研究センター)

Akiko Fukui (Center for Ecological Research, Kyoto University)

生態研セミナー スペシャル

2002年1月11日

「タイにおけるチークの受粉生態と結実」

"Pollination ecology and fruit set in teak (*Tectona grandis*) in Thailand"

タングミチャロエン スワン (タイ王立森林局植林研究部)

Tangmitcharoen Suwan (Silviculture Research Division, Royal Forest Department, Thailand)

「針葉樹とソテツの受粉機構」

"Pollination mechanisms in conifers and cycads"

高相徳志郎 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)

Tokushiro Takaso (Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus)

生態研セミナー スペシャル

2002年3月11日

DIWPAフォーラム

Forum: Perspectives for Post-IBOY Activities in DIWPA

Leader: Takakazu Yumoto (Center for Ecological Research, Kyoto University)

第140回 生態研セミナー

2002年3月15日

「メジロの個体群追跡30年 - 生涯繁殖成功度、有効集団サイズ、個体群存続可能性分析などを吟味する」

"Thirty years of monitoring an island bird population: what predictions can we make?"

橘川次郎 (京都大学生態学研究センター客員教授)

Jiro Kikkawa (Department of Zoology and Entomology, the University of Queensland, Australia)

「オサムシにおける交尾器形態の進化と種分化」

"Genital evolution and speciation in ground beetles"

高見泰興 (京都大学生態学研究センター)

Yasuoki Takami (Center for Ecological Research, Kyoto University)

# 調査船「はす」運航及び共同利用実績表（平成13年度）

延べ運航日数 81日

延べ乗船者数 345名

延べ共同利用者数（乗船者を含めず） 11名

| 月日   | 時間          | 用務内容                            | 乗船者数 |    |    |      |     | その他   |
|------|-------------|---------------------------------|------|----|----|------|-----|-------|
|      |             |                                 | 技官   | 教官 | 院生 | 共同利用 | その他 | 共同利用者 |
| H.13 |             |                                 |      |    |    |      |     |       |
| 4/2  | 8:40~11:55  | セディメントトラップ                      | 2    |    |    | 3    |     |       |
| /5   | 8:55~13:40  | ベントス採集                          | 2    | 1  |    |      |     |       |
| /11  | 8:45~12:30  | セディメントトラップ ミジンコ培養・DOC測定用採水      | 2    |    | 1  | 4    |     | 2     |
| /16  | 9:00~14:50  | 動物プランクトン休眠卵採集（K2サンプラー）ミジンコ培養用採水 | 2    | 1  | 3  | 1    |     |       |
| /17  | 8:45~11:45  | 定期観測                            | 2    |    | 2  |      |     |       |
| /26  | 8:40~12:25  | 安定同位体試料採集（プランクトン，POM）           | 2    |    |    |      |     |       |
| 5/9  | 8:50~11:35  | セディメントトラップ                      | 2    |    |    | 4    |     |       |
| /11  | 10:30~11:55 | 船ガイダンス                          | 2    | 2  | 5  | 1    |     |       |
|      | 14:30~15:40 | 船ガイダンス                          | 2    | 1  | 4  | 5    |     |       |
| /18  | 9:00~11:50  | 定期観測                            | 3    |    | 1  |      |     |       |
| /25  | 8:50~       | 安定同位体試料採集（プランクトン，POM）           | 2    |    |    |      |     |       |
|      | ~13:00      | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水         |      |    |    |      | 1   |       |
| 6/5  | 8:45~13:35  | セディメントトラップ 含有金属分析用採泥（K2サンプラー）   | 1    |    |    | 5    |     |       |
| /14  | 8:50~9:50   | ろ過器具テスト                         | 2    | 1  | 2  |      |     |       |
| /18  | 8:30~12:20  | 定期観測 N <sub>2</sub> Oガス測定用採水    | 2    |    |    |      | 1   |       |
| /22  | 8:30~11:15  | 安定同位体試料採集（プランクトン，POM）           | 2    |    |    |      |     |       |
| /25  | 8:15~16:30  | 琵琶湖南北トランセクト                     | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| /26  | 8:15~12:55  | 琵琶湖南北トランセクト                     | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| /28  | 8:15~13:15  | 琵琶湖南北トランセクト                     | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| 7/10 | 8:30~12:30  | セディメントトラップ                      | 2    |    |    | 4    |     |       |
| /13  | 12:35~14:40 | SBE911+テスト ボトム採水器テスト            | 2    |    |    |      |     |       |
| /18  | 8:25~12:15  | 定期観測 N <sub>2</sub> Oガス測定用採水    | 2    |    |    |      | 1   |       |
| /25  | 8:10~12:00  | 安定同位体試料採集（プランクトン，POM）           | 2    |    |    |      |     |       |
| /27  | 9:00~9:55   | 京都大学パンフレット用写真撮影                 | 2    |    | 3  |      | 3   |       |
| 8/2  | 9:00~12:55  | 植物プランクトン培養用湖水採水 メタン実験用採泥（K2）    | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| /6   | 9:30~12:40  | 栄養塩（P,N,Si）分布調査                 | 2    |    |    | 4    |     |       |
| /7   | 8:30~11:40  | セディメントトラップ回収                    | 2    |    |    | 3    |     |       |
| /8   | 8:20~12:00  | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水         | 2    |    |    |      | 1   |       |
| /9   | 8:50~11:20  | 溶存アルミニウム濃度上昇のメカニズム解明採水          | 2    |    |    | 1    |     |       |
| /10  | 8:55~10:25  | ミジンコ遺伝情報解析用ネット曳き採集              | 2    |    | 2  |      |     |       |
| /13  | 7:50~17:00  | 琵琶湖南北トランセクト                     | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| /15  | 7:40~13:00  | 琵琶湖南北トランセクト                     | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| /16  | 7:45~14:00  | 琵琶湖南北トランセクト                     | 2    | 1  | 3  |      |     |       |
| /23  | 8:10~11:50  | 定期観測                            | 2    |    | 1  |      |     |       |
| /24  | 8:55~12:45  | 京大理学部湖沼実習                       | 2    | 1  | 1  | 1    |     |       |
| /27  | 8:35~9:50   | バイオトロン培養実験用採水                   | 2    |    |    | 1    |     |       |
| /28  | 8:30~11:20  | 安定同位体試料採集（プランクトン，POM）           | 2    |    |    |      |     |       |
| /30  | 8:45~14:00  | メタン実験用採泥（K2サンプラー）               | 2    | 1  | 1  |      |     |       |
| 9/7  | 8:20~11:45  | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水         | 2    |    |    |      | 1   |       |
| /12  | 8:30~10:45  | Daphnia遺伝情報解析用ネット曳き採集           | 2    |    | 1  |      |     |       |
| /18  | 8:20~11:30  | 定期観測                            | 2    |    |    |      |     |       |
| /20  | 8:35~11:45  | メタン実験用採泥（K2サンプラー）               | 2    | 1  | 1  |      |     |       |
| /28  | 8:15~9:10   | 安定同位体試料採集（プランクトン，POM）強風のため中止    | 2    |    |    |      |     |       |

|       |             |                                  |   |   |   |   |  |   |
|-------|-------------|----------------------------------|---|---|---|---|--|---|
| /29   | 8:15~11:05  | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
| 10/4  | 7:55~11:35  | リン酸化酵素活性測定用採水                    | 2 |   | 2 |   |  |   |
| /11   | 8:35~10:25  | Daphnia遺伝情報解析用ネット曳き採集            | 2 |   | 1 |   |  |   |
| /12   | 8:35~13:50  | Daphnia休眠卵採集・遺骸調査(大小コアプラー)       | 2 | 1 | 2 | 1 |  |   |
| /14   | 8:40~11:00  | 溶存アルミニウム濃度上昇のメカニズム解明採水           | 2 |   |   | 1 |  |   |
| /15   | 7:55~18:00  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 | 1 | 3 |   |  |   |
| /17   | 8:10~13:20  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 |   | 4 |   |  |   |
| /19   | 7:35~12:40  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 |   | 4 |   |  |   |
| /24   | 9:25~11:20  | 定期観測                             | 2 |   |   |   |  |   |
| /25   | 8:05~10:50  | メタン生成層確認用採泥(K2サンプラー)             | 2 | 1 | 1 |   |  |   |
| /26   | 8:25~12:15  | アカムシユスリカ幼虫採集用採泥(ドレッジ)            | 2 | 1 |   |   |  |   |
| /30   | 8:25~11:20  | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
| /31   | 8:25~11:45  | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水          | 2 |   |   |   |  | 1 |
| 11/20 | 8:45~       | 定期観測                             | 2 |   | 1 |   |  |   |
|       | ~12:20      | Daphnia遺伝情報解析用ネット曳き採集            |   |   |   |   |  | 1 |
| /28   | 8:20~       | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~12:30      | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水          |   |   |   |   |  | 1 |
| /29   | 12:20~16:40 | 生物採集(エックマン採泥器・プランクトンネット)         | 3 |   |   | 5 |  |   |
| 12/10 | 7:35~12:15  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 | 1 | 3 |   |  |   |
| /12   | 7:35~16:15  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 | 1 | 3 |   |  |   |
| /18   | 8:05~       | 定期観測                             | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~10:55      | DON分析用採水                         |   |   | 1 |   |  |   |
| /25   | 8:25~11:25  | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
| /27   | 8:25~16:00  | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水          | 2 |   |   |   |  | 1 |
| H.14  |             |                                  |   |   |   |   |  |   |
| 1/7   | 8:25~12:50  | アカムシユスリカ幼虫採集用採泥(ドレッジ)            | 2 | 1 |   |   |  |   |
| /18   | 8:25~       | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水          | 2 |   |   |   |  | 1 |
|       | ~11:55      | アカムシユスリカ幼虫飼育用採水                  |   |   |   |   |  | 1 |
| /25   | 8:30~       | 定期観測                             | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~10:30      | アカムシユスリカ幼虫飼育用採水                  |   |   |   |   |  | 1 |
| 2/1   | 8:20~       | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~11:40      | アカムシユスリカ幼虫飼育用採水 植物プランクトン単離・培養用採集 |   |   |   |   |  | 2 |
| /8    | 8:50~12:00  | 栄養塩(P.N.Si)分布調査                  | 2 |   |   | 5 |  |   |
| /13   | 8:20~12:15  | 定期観測                             | 2 |   | 2 |   |  |   |
| /14   | 8:25~11:10  | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水          | 2 |   |   |   |  | 1 |
| /18   | 8:15~       | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 | 1 | 3 |   |  |   |
|       | ~12:30      | 溶存態DNA分析用採水                      |   |   |   |   |  | 1 |
| /20   | 7:35~12:40  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 | 1 | 3 |   |  |   |
| /21   | 7:30~15:55  | 琵琶湖南北トランセクト                      | 2 | 1 | 3 |   |  |   |
| /25   | 8:15~12:45  | アカムシユスリカ幼虫採集用採泥(ドレッジ)            | 2 | 1 |   |   |  |   |
| /26   | 8:25~       | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~12:25      | アカムシユスリカ幼虫飼育用採水                  |   |   |   |   |  | 1 |
| /27   | 8:30~       | メタン生成層確認用採泥(K2サンプラー)             | 2 | 1 | 1 |   |  |   |
|       | ~12:10      | リン脂質脂肪酸(PLFA)成分分析(K2サンプラー)       |   |   |   |   |  | 1 |
| 3/4   | 8:30~       | N <sub>2</sub> Oガス測定用採水          | 2 |   |   |   |  | 1 |
|       | ~11:40      | 定期観測における採泥のソーティングメソッドの検討         | 1 | 1 |   |   |  |   |
| /5    | 8:15~10:10  | バナジウムとリンの琵琶湖南湖分布調査               | 2 |   |   | 1 |  |   |
| /7    | 8:35~8:50   | 空兵衛造船所へ定期点検                      | 1 |   |   |   |  |   |
| /20   | 15:35~15:50 | 定期点検完了 空兵衛造船所から出航                | 1 |   |   |   |  |   |
| /22   | 8:15~       | 定期観測                             | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~10:45      | DON分析用採水 Daphnia遺伝情報解析用ネット曳き採集   |   |   | 2 |   |  |   |
| /26   | 8:10~       | 安定同位体試料採集(プランクトン, POM)           | 2 |   |   |   |  |   |
|       | ~11:30      | アカムシユスリカ幼虫飼育用採水                  |   |   |   |   |  | 1 |

## あとがき

---

---

はじめての「業績目録」の編集で右も左もわからず、しかも編集作業が差し迫る年度末は学生の卒業・修了に加えて学会などもあり、多忙にかまけて事務の青木和枝さんに頼りっぱなしでした。この場でお礼を述べさせていただきます。  
本目録の編集にあたり、28名の協力研究員の方々から業績をご報告いただきました。ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

(編集担当：山内 淳)